

「東大阪市まち・ひと・しごと創生総合戦略」
策定のための

結婚・出産・子育てに関する
アンケート調査

就職に関するアンケート調査

【結果報告書】

平成27年8月

東大阪市

目 次

I. 調査の概要.....	1
1 調査の目的.....	2
2 調査概要.....	2
3 報告書の見方.....	2
II. 結婚・出産・子育てに関するアンケート調査結果.....	5
1 回答者について.....	6
2 結婚・出産について.....	9
3 結婚の支援について.....	29
4 子育てについて.....	33
III. 就職に関するアンケート調査結果.....	39
1 回答者について.....	40
2 今後の就職活動について.....	43
IV. アンケート調査のまとめ.....	63
1 結婚・出産・子育てに関する調査について.....	64
2 就職に関する調査について.....	67

I . 調査の概要

1 調査の目的

平成 26 年に「まち・ひと・しごと創生法」が制定されたことを受け、本市では、人口の現状と将来の展望を示す「東大阪市人口ビジョン」と、地域の実情に応じた今後の施策の方向を定める「東大阪市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の策定を進めています。

そこで、本市在住の若い世代の方の、結婚・出産・子育ての希望や、仕事や生活についての考えをその策定に生かすため、アンケート調査を実施しました。

また、大学生の地元就職の促進を図る上で、東大阪市近隣の大学に在学する大学生の就職に関する意識や考え方を調べることを目的に、大学生を対象とした就職に関するアンケート調査を実施しました。

2 調査の概要

(1) 結婚・出産・子育てに関するアンケート調査

- 調査地域：東大阪市全域
- 調査対象者：東大阪市内在住の 20 歳以上 39 歳以下の男女 3,000 人
- 抽出方法：住民基本台帳より無作為抽出
- 調査期間：平成 27 年 7 月 27 日（月）～平成 27 年 8 月 10 日（月）
- 調査方法：郵送配布・郵送回収

調査対象者数 (配布数)	有効回収数	有効回収率
3,000	667	22.2%

(2) 就職に関するアンケート調査

- 調査対象者：東大阪市大学連絡協議会に加盟する 4 年制大学（6 大学）の在学生
- 調査期間：平成 27 年 7 月
- 調査方法：大学の授業等を通じた配布・回収（一部は学内インターネットを通じた実施）
- 有効回収数：1,512

3 報告書の見方

- 回答結果の割合「%」は有効サンプル数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第 2 位で四捨五入したものです。そのため、単数回答（複数の選択肢から 1 つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が 100.0%にならない場合があります。このことは、本報告書内の分析文、グラフ、表においても反映しています。
- 複数回答（複数の選択肢から 2 つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が 100.0%を超える場合があります。

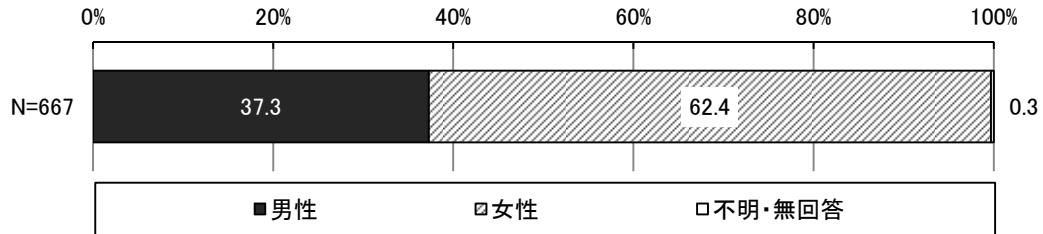
- 図表中において「不明・無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が困難なものです。
- 図表中の「N (number of case)」は、集計対象者総数（あるいは回答者限定設問の限定条件に該当する人）を表しています。
- 本文中の設問の選択肢について、長い文は簡略化している場合があります。
- 図表中において、回答のなかった選択肢については、「0.0%」という表記を省いている場合があります。
- 全国との比較については、国立社会保障・人口問題研究所「第14回出生動向基本調査(2010年)」における同様の設問との比較をしています。この調査は、対象者が50歳未満で、夫婦対象の調査については妻のみを回答者としている等、本調査の方法と若干異なる部分がありますが、全国的な状況と比較対照できるデータとして、可能な限り回答者の属性を一致させられるデータについて紹介しています。

Ⅱ. 結婚・出産・子育てに関する アンケート調査結果

1 回答者について

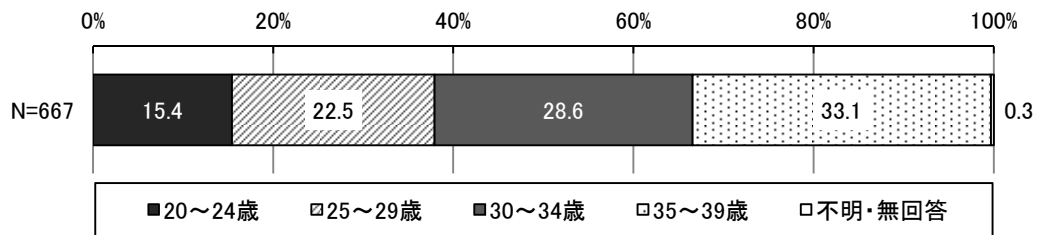
(1) 回答者の性別〈単数回答〉〔問1 あなたの性別は、次のどれにあてはまりますか。(1つに○)〕

回答者の性別についてみると、「男性」が37.3%、「女性」が62.4%となっています。



(2) 回答者の年齢〈単数回答〉〔問2 あなたの平成27年4月1日現在の年齢を教えてください。(1つに○)〕

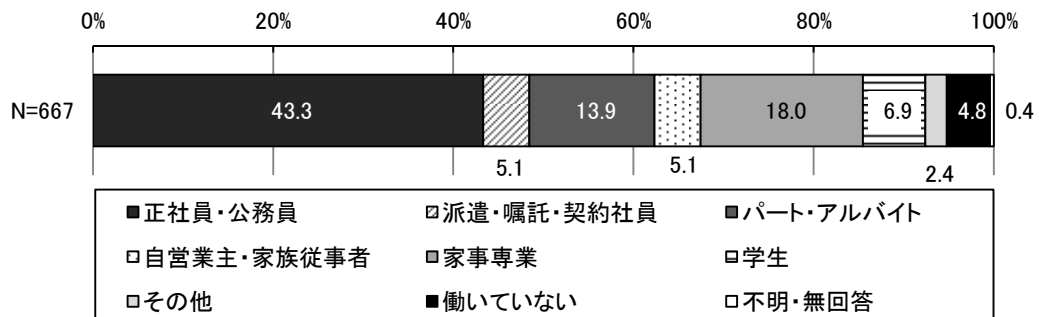
回答者の年齢についてみると、「35～39歳」が33.1%で最も多く、次いで「30～34歳」が28.6%となっています。



(3) 回答者の職業の状況〈単数回答〉

〔問3 あなたの現在のおつとめの状況は、次のどれにあてはまりますか。(1つに○)〕

回答者の現在の職業の状況についてみると、「正社員・公務員」が43.3%で最も多く、次いで「家事専業」が18.0%となっています。「正社員・公務員」「派遣・嘱託・契約社員」「パート・アルバイト」「自営業主・家族従事者」を合わせた就労者の割合は、67.4%となっています。



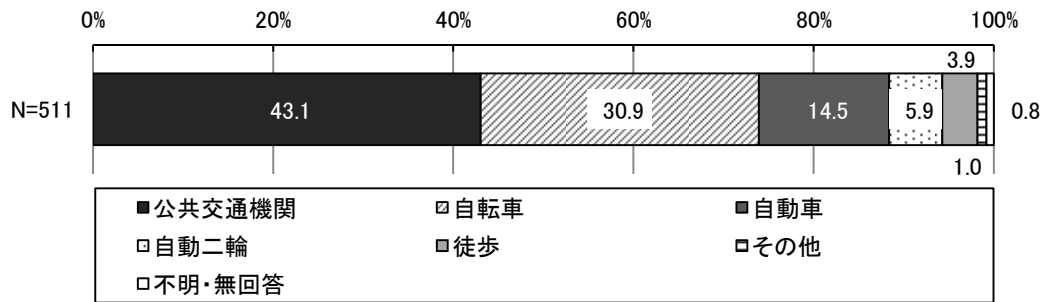
(4) 「①主な通勤・通学手段」〈単数回答〉と「②片道の通勤・通学時間」〈数量回答〉

〔問4 あなたの主な通勤・通学手段と所要時間をお教えてください。〕

回答者の主な通勤・通学手段についてみると、「公共交通機関」が43.1%で最も多く、次いで「自転車」が30.9%、「自動車」が14.5%となっています。

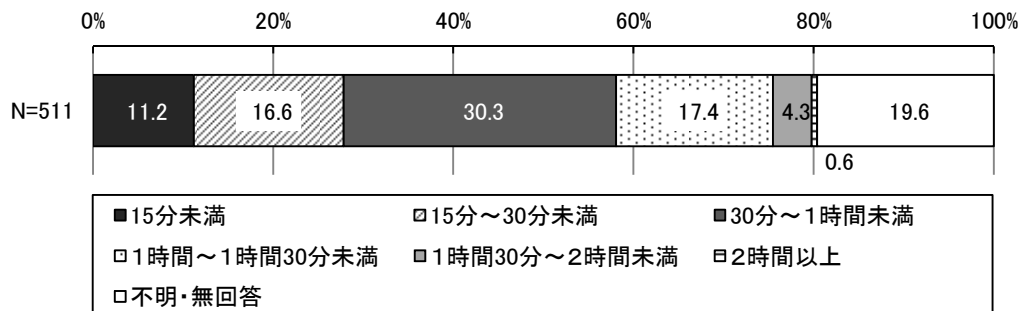
片道の通勤・通学時間についてみると、「30分～1時間未満」が30.3%で最も多くなっています。『30分未満』（「15分未満」と「15分～30分未満」の計）と回答した方は、全体の27.8%となっています。

①主な通勤・通学手段



※ 「7. 通勤・通学はしていない」と回答した方 (N=156) を除く

②片道の通勤・通学時間

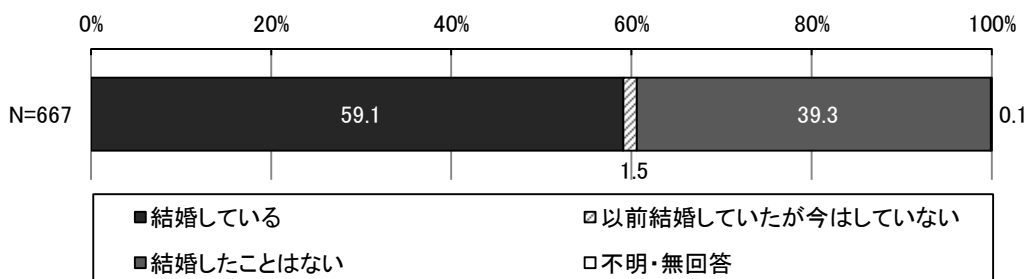


※ ①で「7. 通勤・通学はしていない」と回答した方 (N=156) を除く

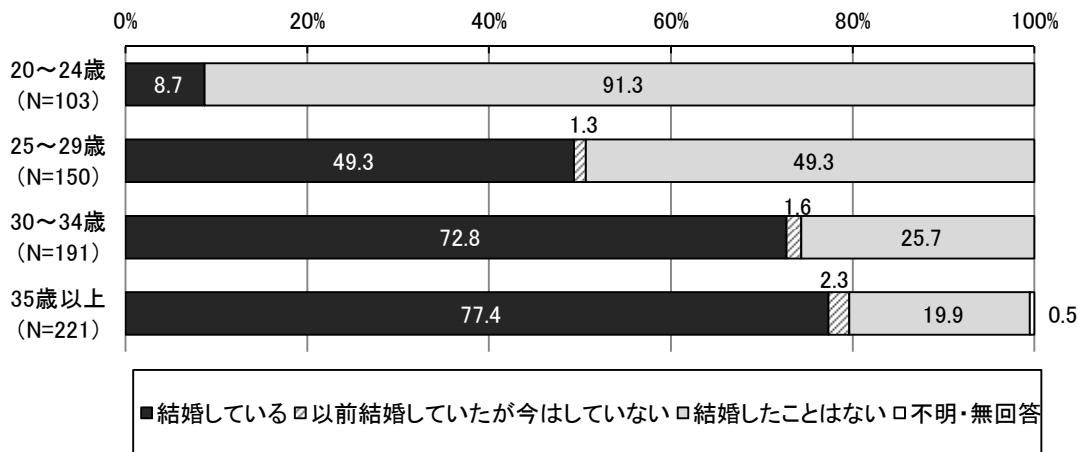
(5) 回答者の結婚の状況〈単数回答〉 [問5 あなたは結婚(事実婚含む)していますか。(1つに〇)]

回答者の結婚の状況についてみると、「結婚している」が 59.1%、「以前結婚していたが今はしていない」が 1.5%、「結婚したことはない」が 39.3%となっています。

回答者の年齢別にみると、20～24 歳では1割未満、25～29 歳では約半数、30 歳以上では7割以上が「結婚している」と回答しています。



年齢別にみた結婚の状況



2 結婚・出産について

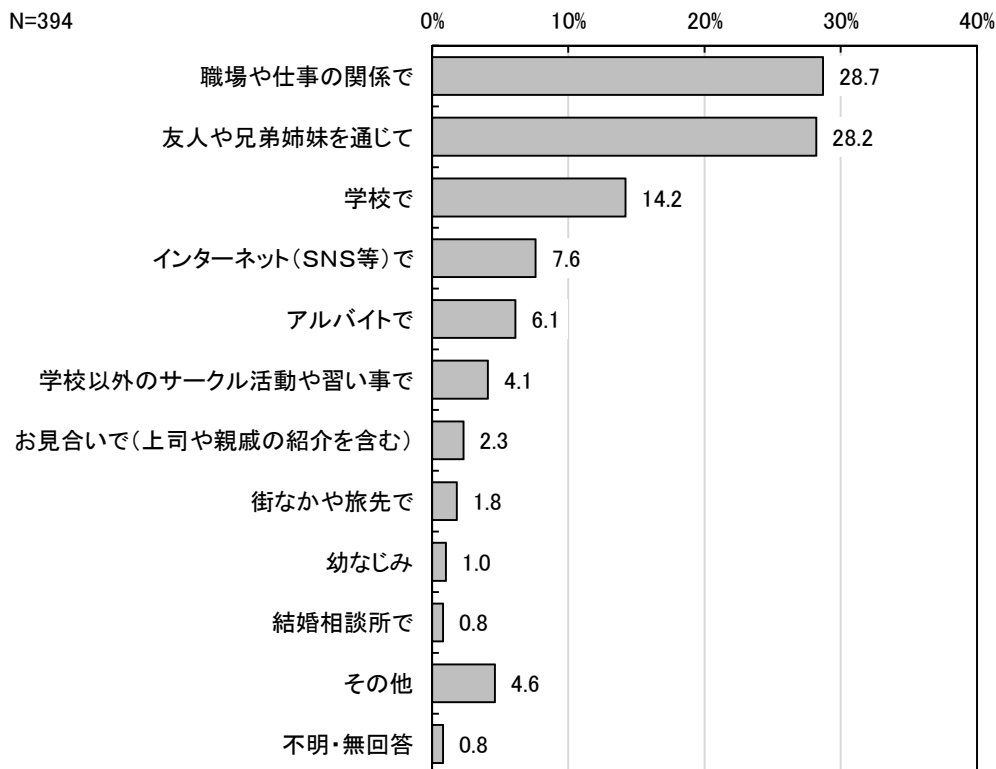
現在結婚している方（問5で「1. 結婚している」を選んだ方）

（6）結婚相手と知り合ったきっかけ〈単数回答〉

〔問6 どのようなきっかけで結婚相手と知り合わせましたか。（1つに〇）〕

結婚相手と知り合ったきっかけについてみると、「職場や仕事の関係で」が28.7%で最も多く、次いで「友人や兄弟姉妹を通じて」が28.2%となっています。

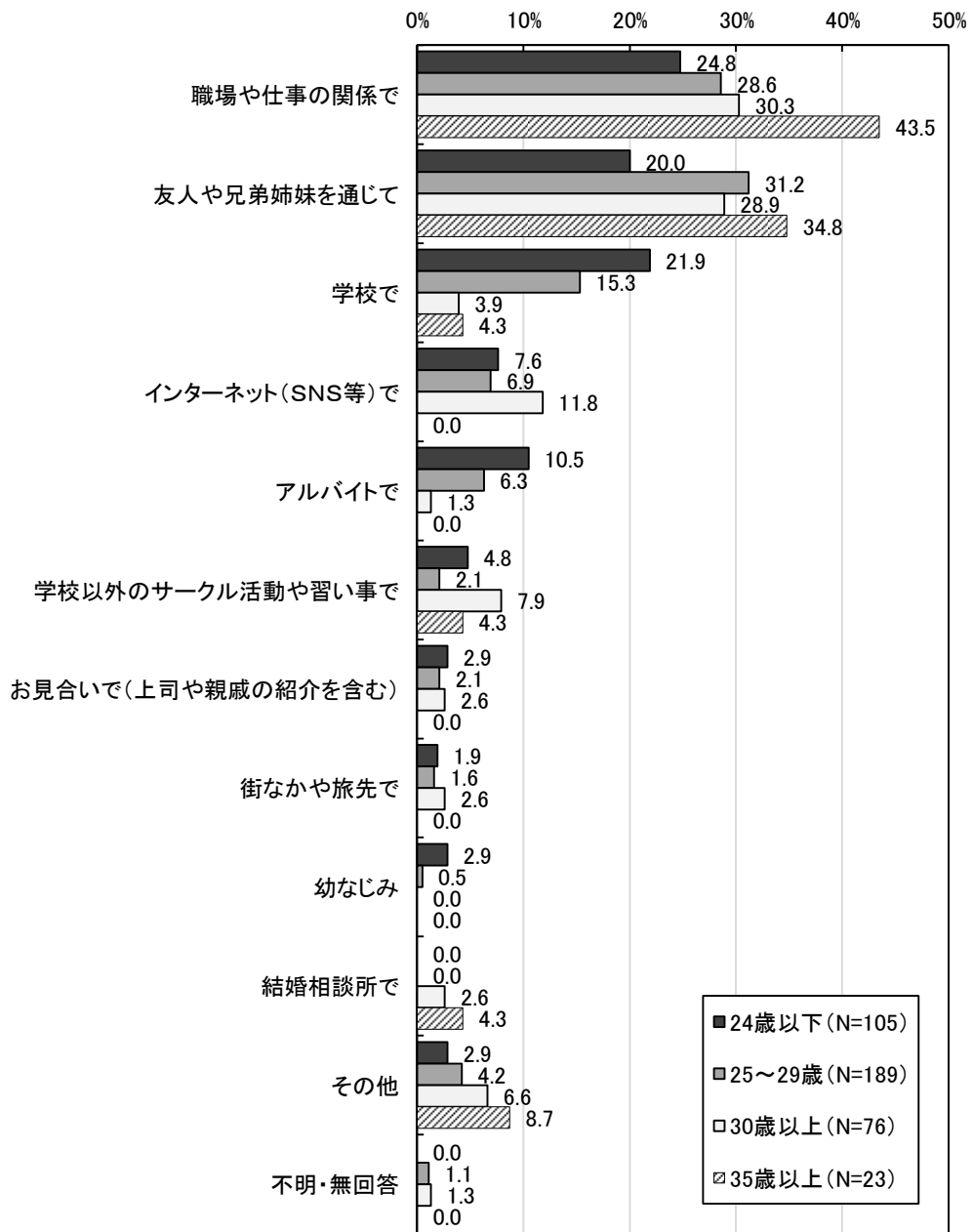
結婚時の年齢別にみると、上の年代ほど「学校で」、「アルバイトで」が少なくなり、「職場や仕事の関係で」、「友人や兄弟姉妹を通じて」が多くなります。



○その他回答

回答	件数
親の友人	1
友だちの結婚パーティー	1
飲み会	1
友人の紹介	1
お互いの趣味を通じて	1
前から気になっていたので、声をかけた	1
街婚	1
時間つぶしにコーヒーを飲んでいたら話しかけられた	1
なんば	1
同窓会	1

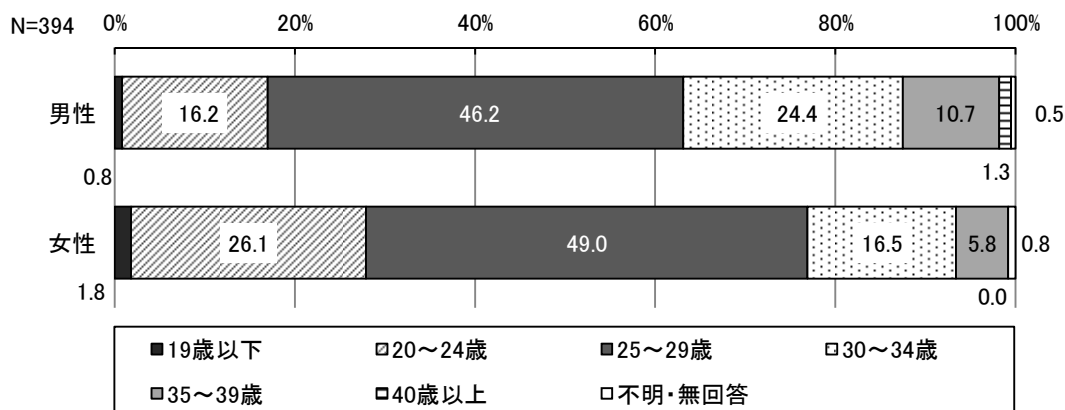
結婚時の年齢別にみた結婚相手と知り合ったきっかけ



現在結婚している方（問5で「1. 結婚している」を選んだ方）

（7）現在結婚している方の、結婚時の年齢〈数量回答〉〔問7 結婚された年齢をお教えてください。〕

現在結婚している方の結婚時の年齢についてみると、男性・女性ともに「25～29歳」が最も多く、それぞれ46.2%、49.0%となっています。次いで、男性では「30～34歳」が24.4%、女性では「20～24歳」が26.1%となっています。平均年齢は、男性28.6歳、女性26.9歳となっています。平成26年の人口動態調査によると、結婚時の年齢が39歳以下の人の平均年齢は、男性29.6歳（初婚のみ29.1歳）、女性28.6歳（初婚のみ28.2）となっており、本市の有配偶者は、比較的若いうちに結婚した人が多いと考えられます。



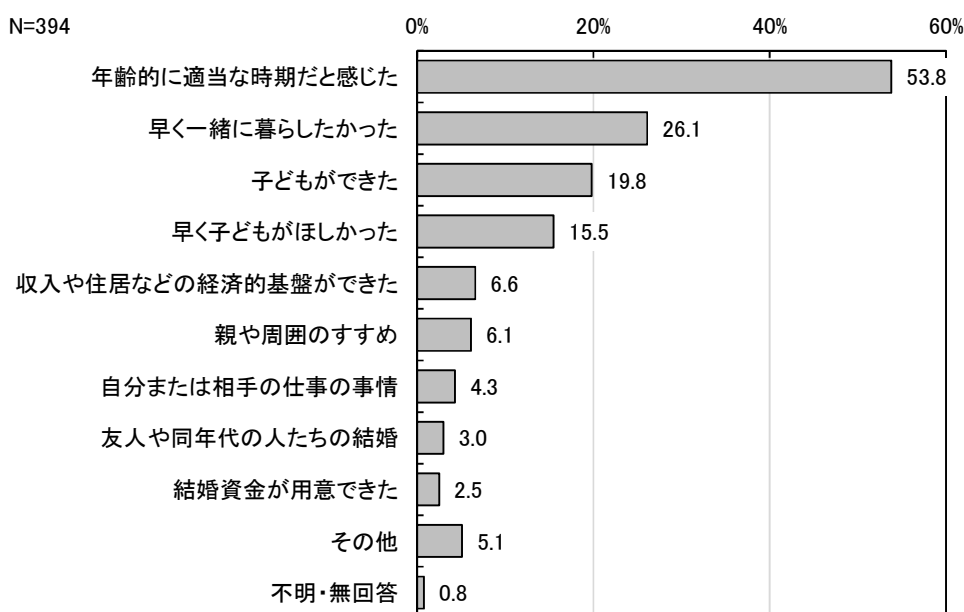
現在結婚している方（問5で「1. 結婚している」を選んだ方）

（8）結婚を決めたときの直接のきっかけ〈複数回答〉

〔問8 あなたが結婚を決めたときの直接のきっかけは何ですか。（〇は2つまで）〕

結婚を決めたときの直接のきっかけについてみると、「年齢的に適当な時期だと感じた」が53.8%で最も多く、次いで「早く一緒に暮らしたかった」が26.1%となっています。

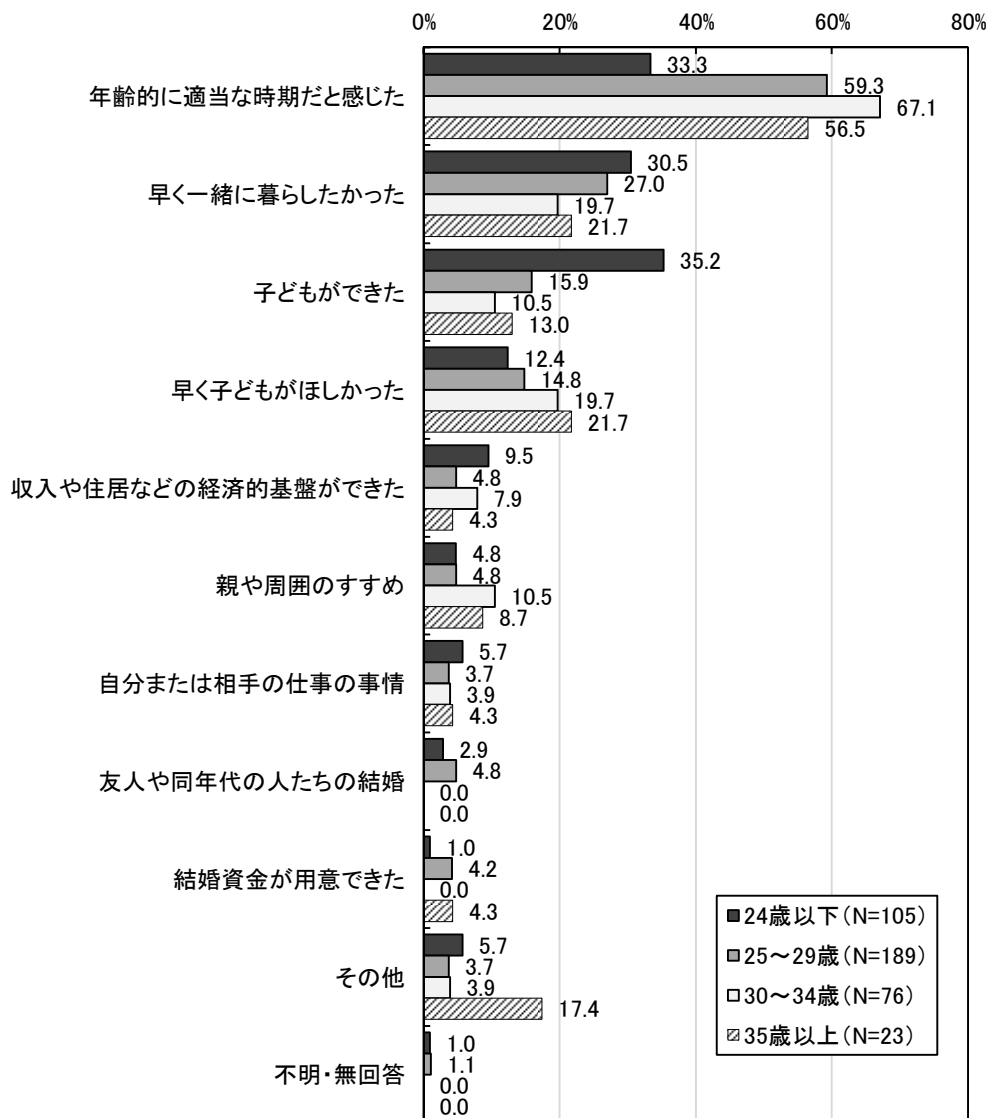
結婚時の年齢別にみると、「年齢的に適当な時期だと感じた」は25歳以上で多く、「子どもができた」は24歳以下で多くなっています。「早く一緒に暮らしたかった」は若い年代ほど多く、「早く子どもがほしかった」は上の年代ほど多くなります。



○その他回答

回答	件数
実家を出たかった、自立したかった	2
大好きだったから	2
ノリで	1
家賃が2軒分だったので	1
長く付き合っていたため	1
結婚したくてたまらなかった	1
主人の実家が引越するので、それと同時に結婚、同居	1
二人の結婚のタイミングが合ったため	1
自然な流れで	1
結婚するつもりはなかったが、今の夫が結婚したいと言ったので、そういう人生もいいかと思い結婚することにした	1
自分に合う相手だった	1
子供ができれば結婚する事になっていた。先に子作りをしていた	1
入院した時にお互いの立場がはっきりしなく、困ったので、社会的にお互いサポートできる立場になるべきだと思ったため	1

結婚時の年齢別にみた結婚を決めたときの直接のきっかけ



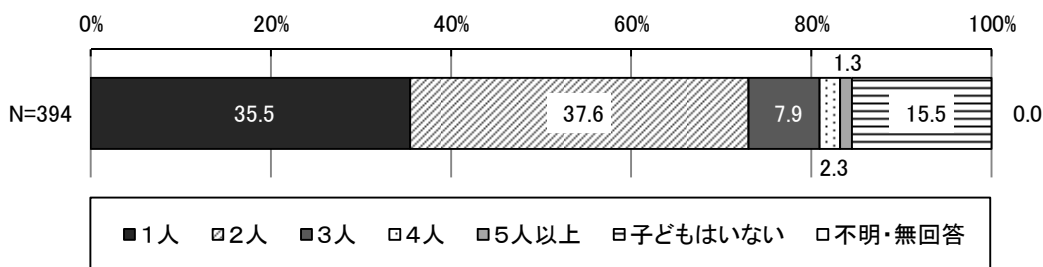
現在結婚している方（問5で「1. 結婚している」を選んだ方）

（9）結婚している方の、現在の子どもの数〈単数回答〉

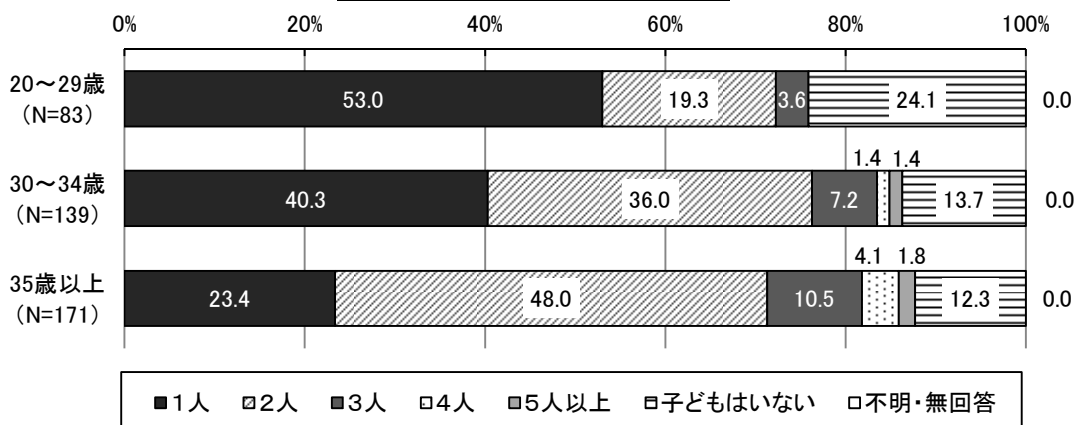
〔問9 あなたの世帯には、お子さんが何人いらっしゃいますか。現在妊娠中のお子さんは含めずお答えください。（1つに〇）〕

結婚している方の現在の子どもの数についてみると、「2人」が37.6%で最も多く、次いで「1人」が35.5%となっています。

年齢別にみると、年齢が上がるほど「子どもはいない」、「1人」が少なくなり、「2人」、「3人」が多くなっています。



年齢別にみた現在の子どもの数



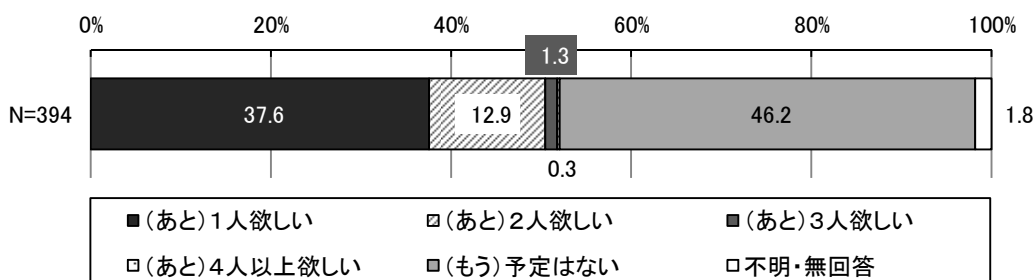
現在結婚している方（問5で「1. 結婚している」を選んだ方）

（10）結婚している方の、今後の子どもの予定〈単数回答〉

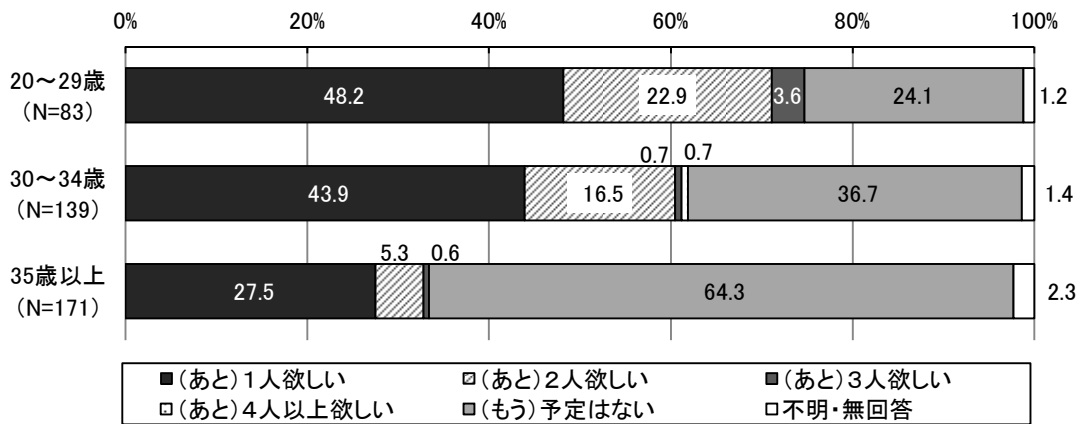
〔問10 お子さんのご予定（妊娠中のお子さんを含む）について、あてはまる番号に〇をつけてください。（1つに〇）〕

結婚している方の今後予定している子どもの数についてみると、「（もう）予定はない」が46.2%で最も多く、次いで「（あと）1人欲しい」が37.6%となっています。

年齢別にみると、34歳以下では「（あと）1人欲しい」が最も多く、35歳以上では「（もう）予定はない」が最も多くなっています。



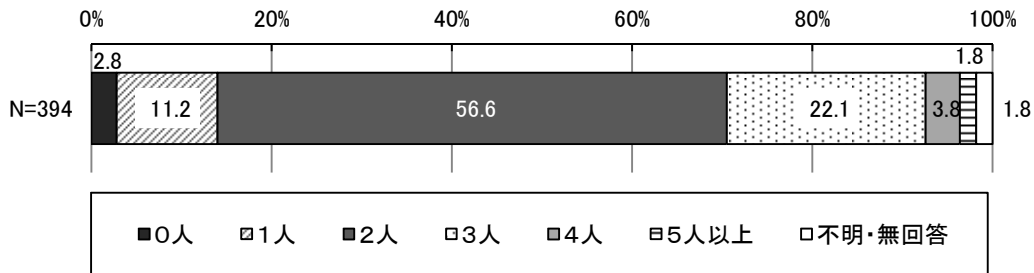
年齢別にみた今後の子どもの予定



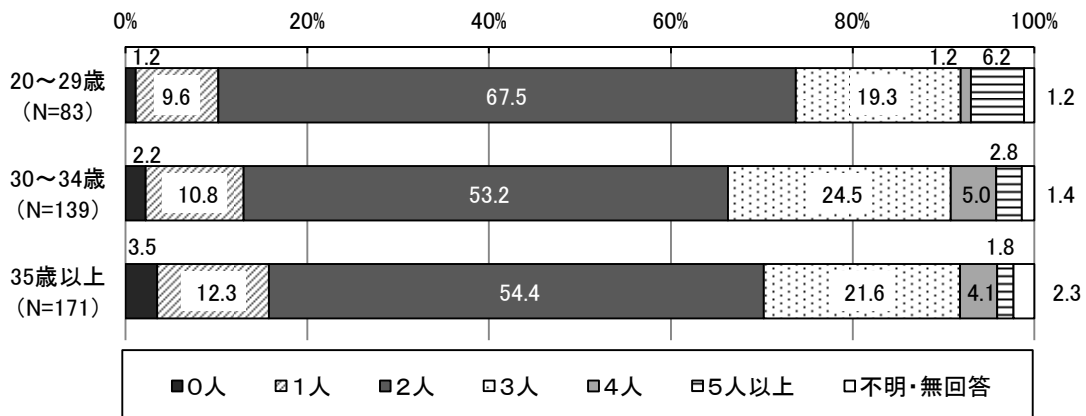
■持つことを予定している子どもの数

今後予定している子どもの数と、問9で尋ねた現在の子どもの数を合計した、持つことを予定している子どもの数を見ると、「2人」が56.6%で最も多く、次いで「3人」が22.1%となっています。

年齢別にみると、上の世代ほど「0人」または「1人」の回答がやや増加しますが、それほど大きな差は見られません。



年齢別にみた予定している子ども数



現在結婚している方（問5で「1. 結婚している」を選んだ方）

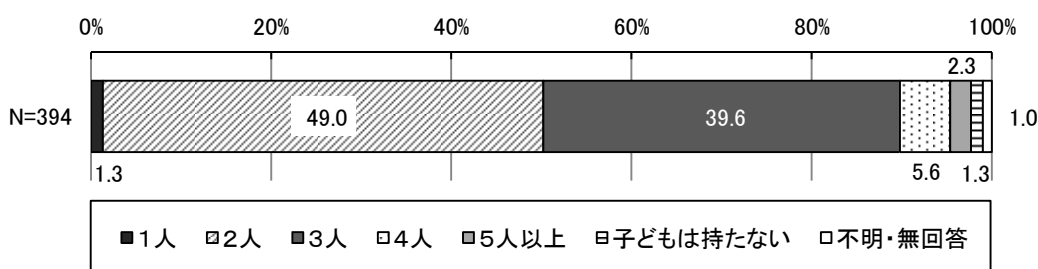
（11）結婚している方の、理想とする子どもの数〈単数回答〉

〔問 11 あなたにとって、理想とする子どもの数は何人ですか。（1つに○）〕

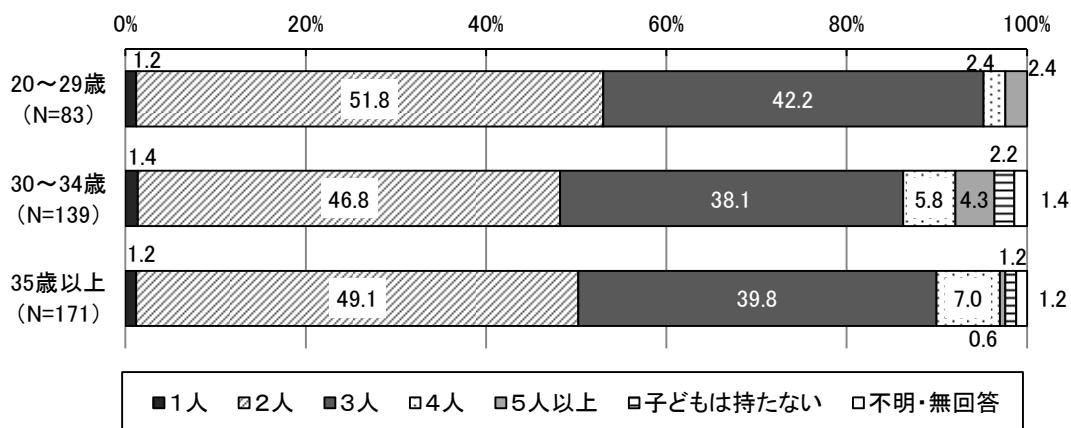
結婚している方の理想とする子どもの数についてみると、「2人」が49.0%で最も多く、次いで「3人」が39.6%となっています。

年齢別にみても、理想とする子どもの数にはほとんど差はありません。

理想の子ども数別に予定している子ども数を見ると、理想が「2人」の場合は、予定が理想より少ない人は19.1%にとどまっているのに対し、理想が「3人」の場合は予定が理想より少ない人が55.8%となっており、3人目を持つことに難しさを感じる人が多いことがうかがえます。



年齢別にみた理想とする子どもの数



理想の子ども数別にみた予定している子どもの数

単位	回答者数 人	予定している子どもの数						
		0人 %	1人 %	2人 %	3人 %	4人 %	5人以上 %	無回答 %
全体	394	2.8	11.2	56.6	22.1	3.8	1.8	1.8
理想の子ども数 0人	5	60.0	20.0	-	-	20.0	-	-
1人	5	-	100.0	-	-	-	-	-
2人	193	4.1	15.0	73.1	4.7	1.0	0.5	1.6
3人	156	-	5.8	50.0	42.9	-	-	1.3
4人	22	-	-	9.1	36.4	50.0	4.5	-
5人以上	9	-	-	22.2	33.3	11.1	33.3	-

※理想の子ども数より予定している子どもの数が少ない部分に網掛け

■本調査から算出される出生率

本調査の結果から、東大阪市の 20～39 歳のコーホート合計特殊出生率（同一世代に属する女性が一生に生む子どもの数）を以下のように推計しました。予定している子どもの数に基づく出生率が 1.83、理想とする子どもの数に基づく出生率は 2.06 となっています（詳細は p57 以降に再掲）。

◎本調査から算出される若年者（20～39 歳）のコーホート合計特殊出生率（予定）の推計値

推計の考え方

有配偶者については予定子ども数が達成されると仮定。独身者については、結婚を希望する人について、ほしい子どもの数に有配偶者の理想の子どもの数に対する予定の子どもの数の比率と同じ数値を乗じた子ども数が達成されると仮定。

$$\begin{aligned} & \text{若年者（20～39 歳） 予定合計特殊出生率} \\ & = A \times C + D \times A / B \times E \times F \\ & = 2.23 \times 0.402 + 2.14 \times 2.23 / 2.52 \times 0.598 \times 0.822 = \underline{\underline{1.83}} \end{aligned}$$

◎若い世代の希望がかなえられた場合のコーホート合計特殊出生率（理想）の推計値

推計の考え方

有配偶者については理想子ども数が達成され、結婚を希望する独身者については欲しい子ども数が達成されると仮定。

$$\begin{aligned} & \text{若年者（20～39 歳）の理想合計特殊出生率} \\ & = B \times C + D \times E \times F \\ & = 2.52 \times 0.402 + 2.14 \times 0.598 \times 0.822 = \underline{\underline{2.06}} \end{aligned}$$

A：有配偶者予定子ども数（問 10）

D：独身者ほしい子ども数（14）

B：有配偶者理想子ども数（問 11）

E：独身者率（2010 国勢調査）

C：有配偶者率（2010 国勢調査）

F：独身者結婚希望率（問 15）

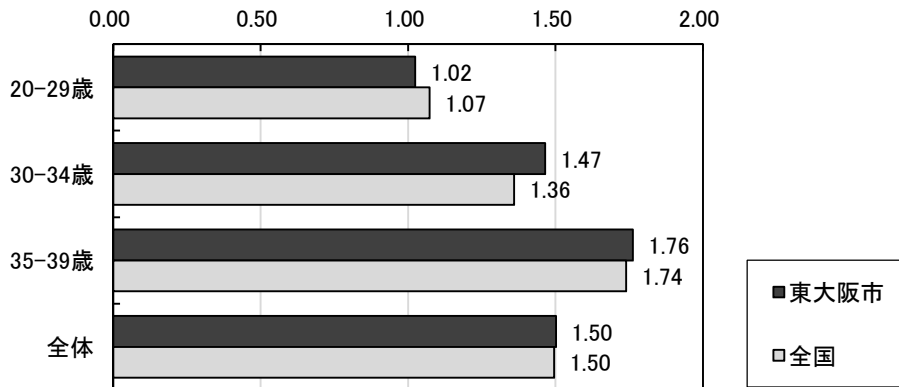
※本調査の結果については不明・無回答を除いて算出。国勢調査については配偶関係不詳を除いて算出。

本調査の回答者においては、本市の市民の構成と比較してやや有配偶者が多かったため、有配偶者率・独身者率については国勢調査の数値を適用した。

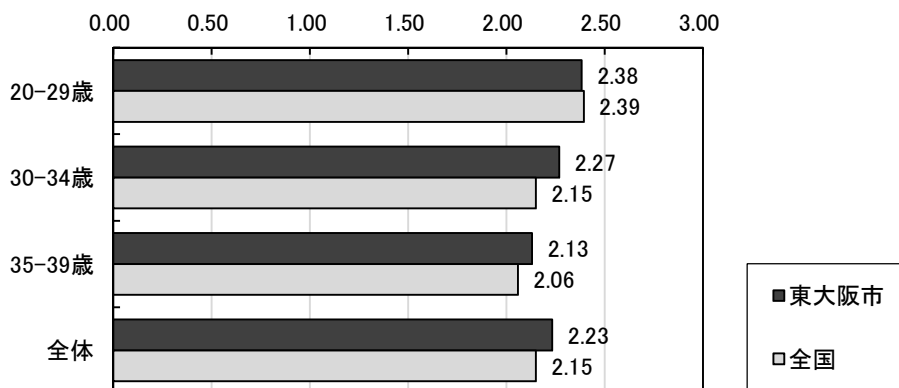
■子ども数の全国調査との比較

現在の子どもの数、持つことを予定している子どもの数、理想の子どもの数の平均を全国調査と比較しました。現在の子どもの数については、20～29歳では全国よりやや低く、30～34歳では全国よりやや高くなっていますが、全体としてはほぼ全国と等しくなっています。予定している子どもの数と理想の子どもの数については、30歳代で全国よりやや高くなっており、全体として、予定、理想ともに全国よりやや高い数値となっています。

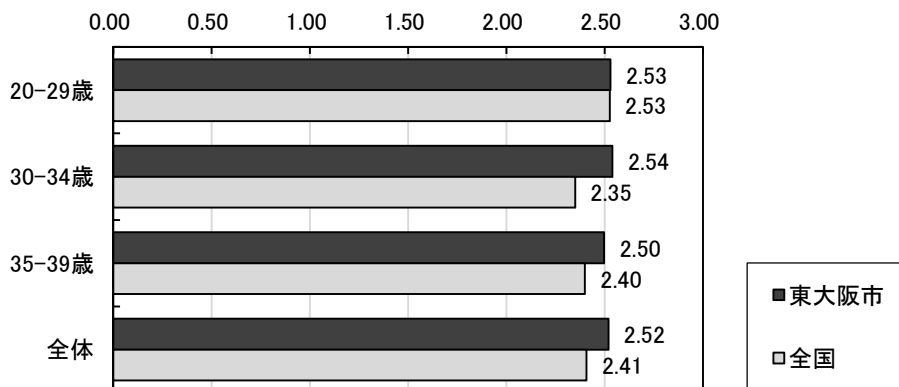
年齢別にみた現在の子どもの数の平均の全国調査との比較



年齢別にみた持つことを予定している子どもの数の平均の全国調査との比較



年齢別にみた理想の子どもの数の全国調査との比較



※全国調査の結果については、国立社会保障・人口問題研究所「第14回出生動向基本調査（2010年）」における同様の設問の回答状況を参照しています（以下同様）。

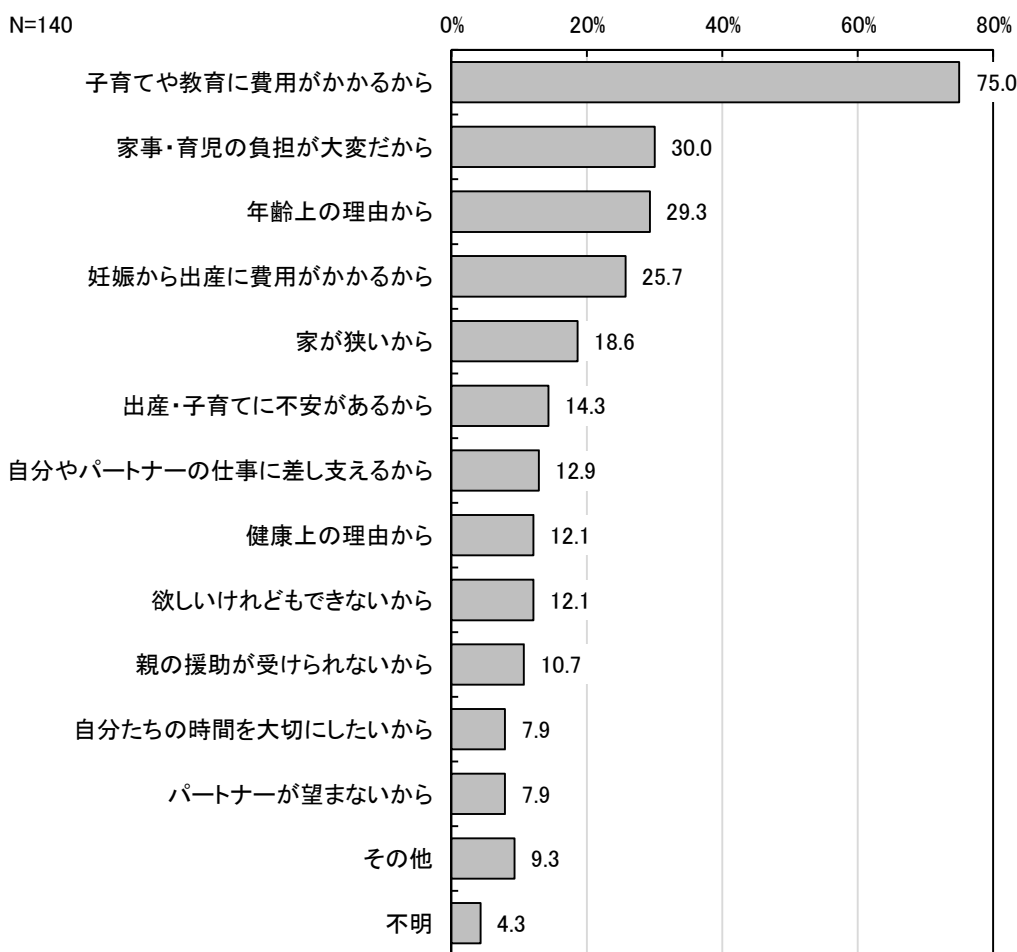
**実際に欲しい子どもの数（問9と問10の答の合計）が、理想とする子どもの数（問11の答）より少ない方
 (12) 実際に欲しい子どもの数が、理想とする子どもの数より少ない理由〈複数回答〉**

〔問12 実際に欲しい子どもの数が、理想とする子どもの数より少ないのはどうしてですか。

（あてはまるものすべてに○）〕

実際に欲しい子どもの数が理想とする子どもの数より少ない理由についてみると、「子育てや教育に費用がかかるから」が75.0%で最も多く、全体の4分の3を占めています。次いで「家事・育児の負担が大変だから」が30.0%、「年齢上の理由から」が29.3%、「妊娠から出産に費用がかかるから」が25.7%と、経済的な負担が上位を占めています。

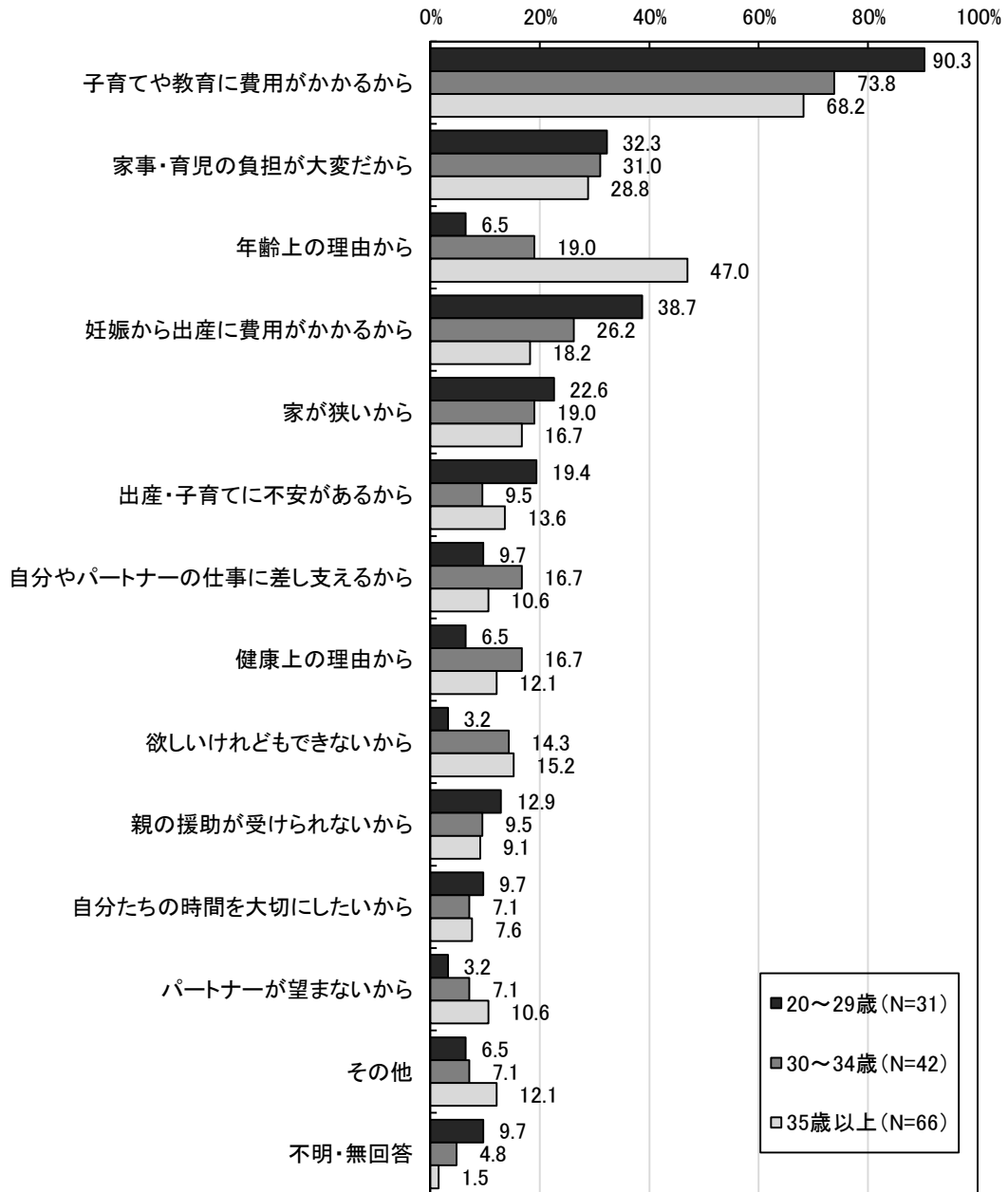
年齢別にみると、「子育てや教育に費用がかかるから」、「妊娠から出産に費用がかかるから」は若い世代ほど多く回答されており、「年齢上の理由から」は上の世代で増加しています。



○その他回答

回答	件数
経済的余裕がない、不安	5
自分が将来、学校に行く予定だから	1
これから	1
これからの日本に不安がある	1
主人が働けないから	1
できたら欲しい	1
保育園料が高い	1
保育園不足	1
男の子が欲しい	1
経済的に仕事を続けなければならないから	1

年齢別にみた実際にほしい子どもの数が理想の子どもの数より少ない理由

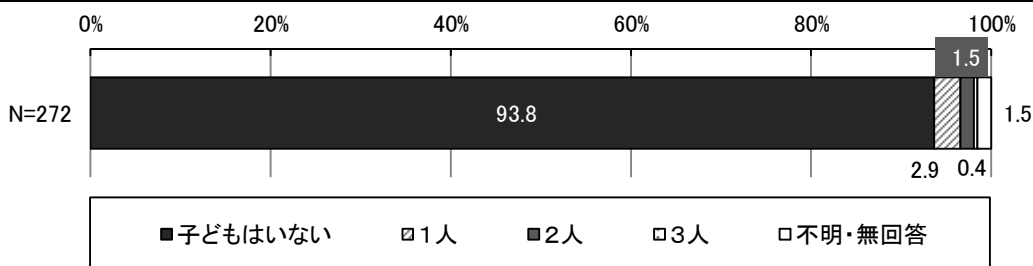


現在結婚していない方（問5で「2. 以前結婚していたが今はしていない」「3. 結婚したことはない」を選んだ方）

（13）結婚していない方の、現在の子どもの数〈単数回答〉

〔問13 あなたには現在、一緒に暮らすあなたのお子さんが何人いらっしゃいますか。（1つに○）〕

結婚していない方の現在の子どもの数についてみると、「子どもはいない」が93.8%、「1人」が2.9%、「2人」が1.5%、「3人」が0.4%となっています。



※「4人」「5人以上」に回答はありませんでした。

現在結婚していない方（問5で「2. 以前結婚していたが今はしていない」「3. 結婚したことはない」を選んだ方）

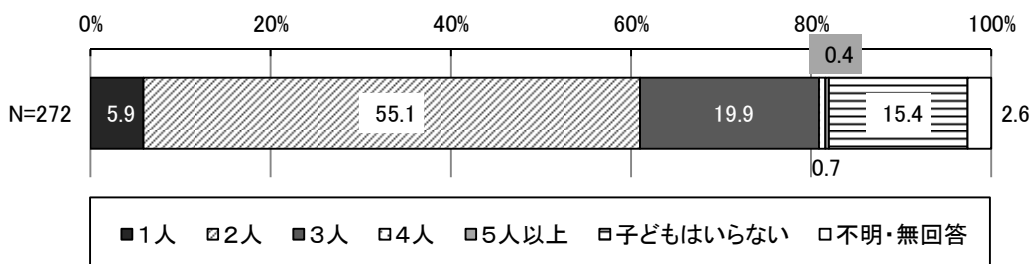
（14）結婚していない方の、将来欲しい子どもの数〈単数回答〉

〔問14 あなたは将来、子どもは何人くらい欲しいですか。すでにお子さんのいる方はその子も含めた合計で、欲しい子どもの人数をお答えください。（1つに○）〕

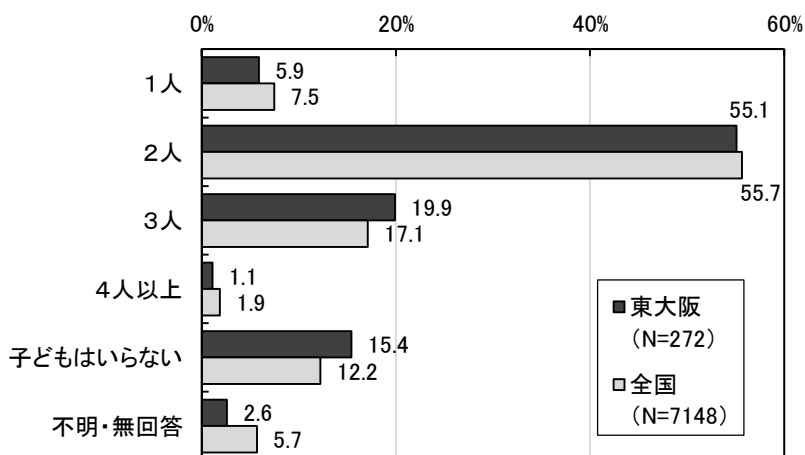
結婚していない方の将来欲しい子どもの数についてみると、「2人」が55.1%で最も多く、次いで「3人」が19.9%となっています。性別、年齢別による差はほとんど見られませんでした。

全国調査と比較すると、東大阪市では「3人」という回答がやや多い一方で、「子どもはிரない」という回答もやや多くなっており、平均値で比較すると、東大阪市 1.85、全国 1.88 と、やや東大阪市の方が低い値になっています。

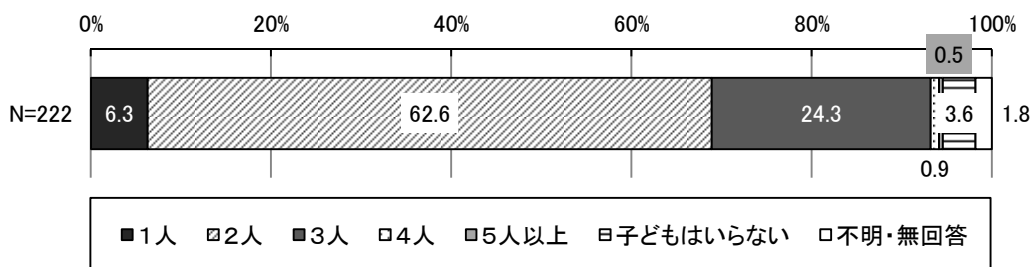
いずれ結婚するつもりの方の回答者のみを集計すると、「2人」または「3人」という回答が増加し、「子どもはிரない」が減少しています。この場合の平均は 2.14 人となっています。全国調査における結婚意思のある 20～39 歳の独身者の希望子ども数の平均は 2.03 となっており、結婚意思のある人に限れば、全国と比べてやや多くなっています。



将来欲しい子どもの数の全国調査との比較



将来欲しい子どもの数 (いずれ結婚するつもり (問 15) と回答した人のみ)



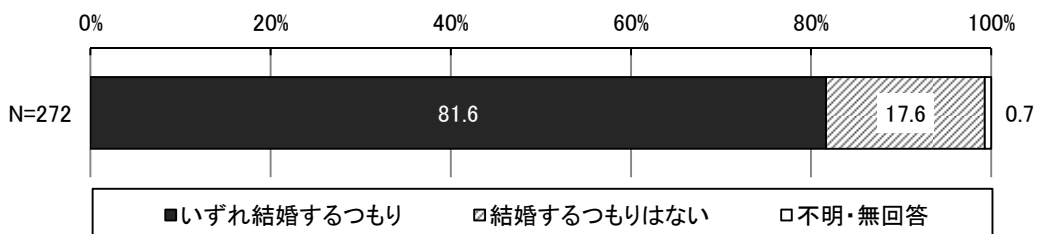
現在結婚していない方 (問5で「2. 以前結婚していたが今はしていない」「3. 結婚したことはない」を選んだ方)

(15) 結婚していない方の、今後の結婚意向〈単数回答〉

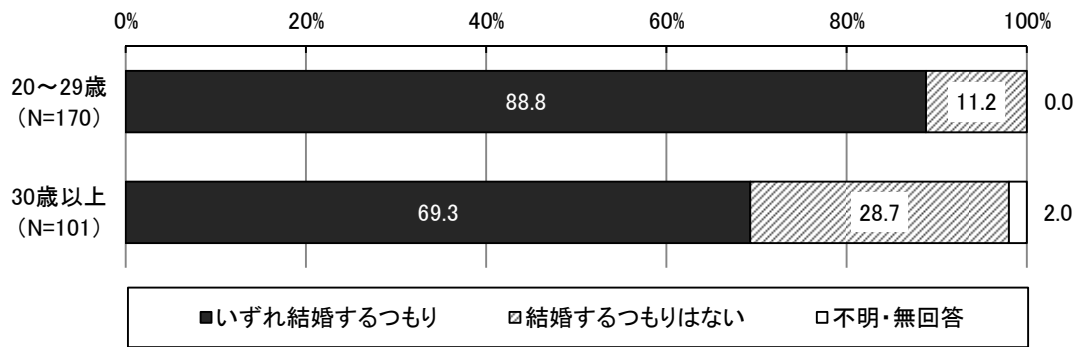
〔問 15 自分の一生を通じて考えた場合、今後、あなたは結婚するつもりはありますか。(1つに○)〕

結婚していない方の今後の結婚意向についてみると、「いずれ結婚するつもり」が 81.6%、「結婚するつもりはない」が 17.6%となっています。

年齢別にみると、30 歳以上では「結婚するつもりはない」が 20 歳代より大幅に増えています。



年齢別にみた今後の結婚意向

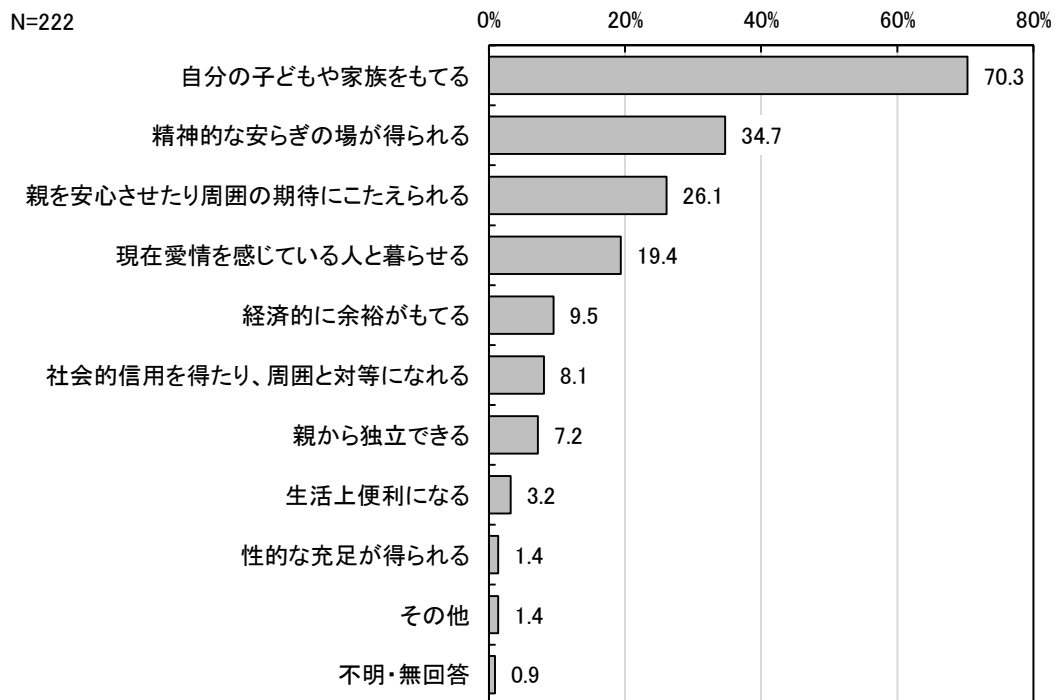


問 15 で「1. いずれ結婚するつもり」に○をつけた方

(16) 結婚の意向がある方にとって、結婚にはどのようなよい点があるか〈複数回答〉

〔問 16 あなたにとって、結婚することにどのようなよい点があると思いますか。(○は2つまで)〕

結婚の意向がある方にとって結婚にはどのようなよい点があると思うかという設問については、「自分の子どもや家族をもてる」が70.3%で最も割合が高く、次いで「精神的な安らぎの場が得られる」が34.7%、「親を安心させたり周囲の期待にこたえられる」が26.1%となっています。



○その他回答

回答	件数
毎日楽しそう	1
メリットはないと思う	1
孤独にならない	1

問 15 で「1. いずれ結婚するつもり」に○をつけた方

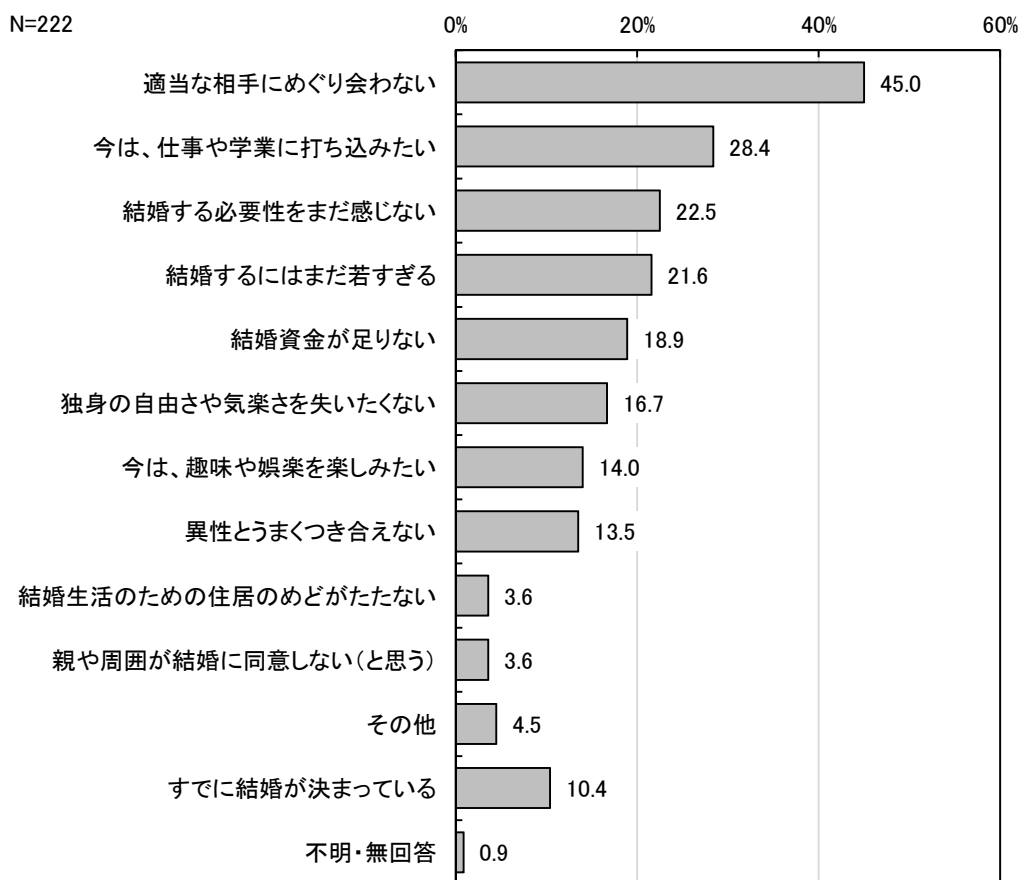
(17) 結婚していない方の、現在独身でいる理由〈複数回答〉

〔問 17 あなたが現在、独身でいる理由は、次の中から選ぶとすればどれですか(○は3つまで)。

すでに結婚が決まっている方は、「12. 」に○をしてください。〕

結婚していない方の現在独身でいる理由についてみると、「適当な相手にめぐり会わない」が45.0%で最も割合が高く、次いで「今は、仕事や学業に打ち込みたい」が28.4%、「結婚する必要性をまだ感じない」が22.5%、「結婚するにはまだ若すぎる」が21.6%となっています。

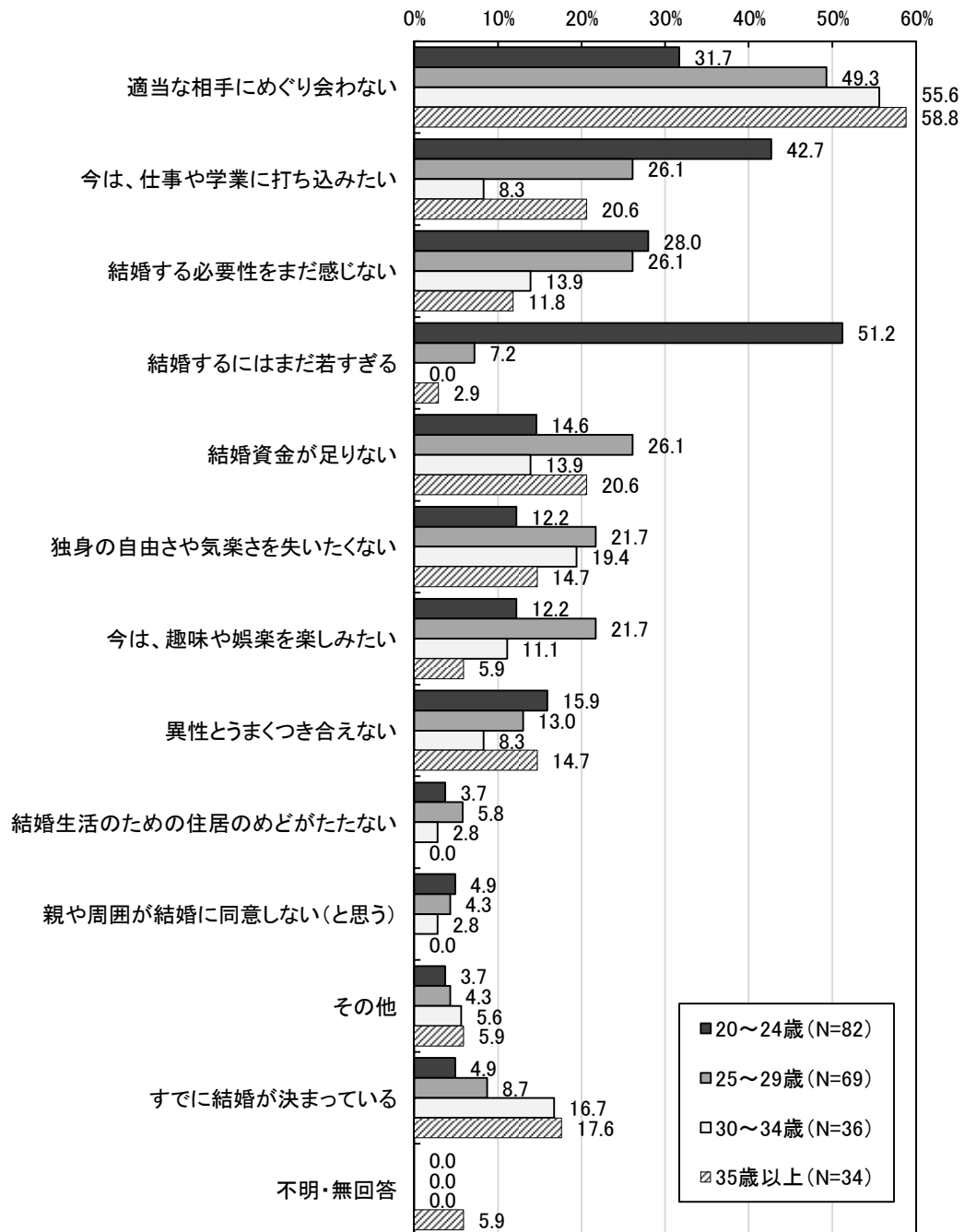
年齢別にみると、「今は、仕事や学業に打ち込みたい」、「結婚するにはまだ若すぎる」は20～24歳で多く、「適当な相手にめぐり会わない」は上の世代ほど多くなっています。「結婚資金が足りない」、「今は、趣味や娯楽を楽しみたい」は25～29歳でやや多くなっています。



○その他回答

回答	件数
経済力が低い	2
仕事の都合で結婚できない	1
付き合ったことがない	1
相手の女性がまだ若い(20才)	1
付き合う時間がない	1
にあう人がいない	1
子供が成人してからと思っている	1
仕事が忙しくてゆっくり考える気になれない	1

年齢別にみた現在独身でいる理由



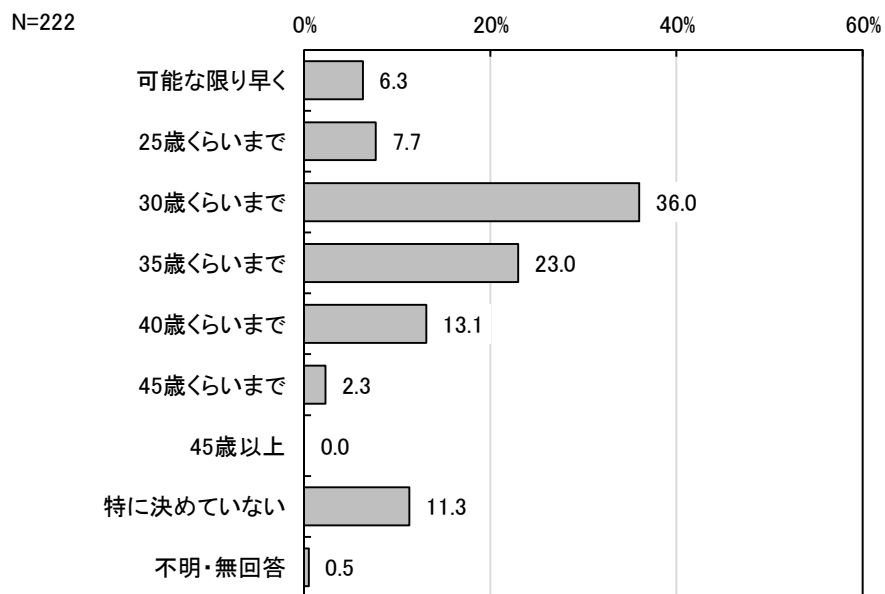
問 15 で「1. いずれ結婚するつもり」に○をつけた方

(18) 何歳くらいまでに結婚したいか〈単数回答〉

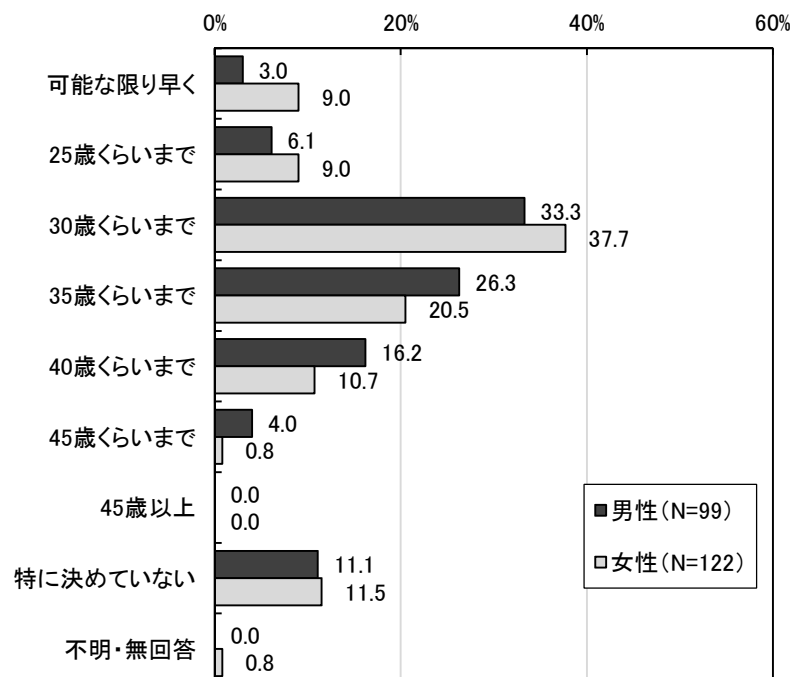
〔問 18 何歳くらいまでに結婚したいとお考えですか。(1つに○)〕

何歳くらいまでに結婚したいかについてみると、「30歳くらいまで」が36.0%で最も多く、次いで「35歳くらいまで」が23.0%となっています。

男女別にみると、男性より女性の方がやや若いうちに結婚したいという回答が多い傾向が見られます。



男女別にみた何歳くらいまでに結婚したいか



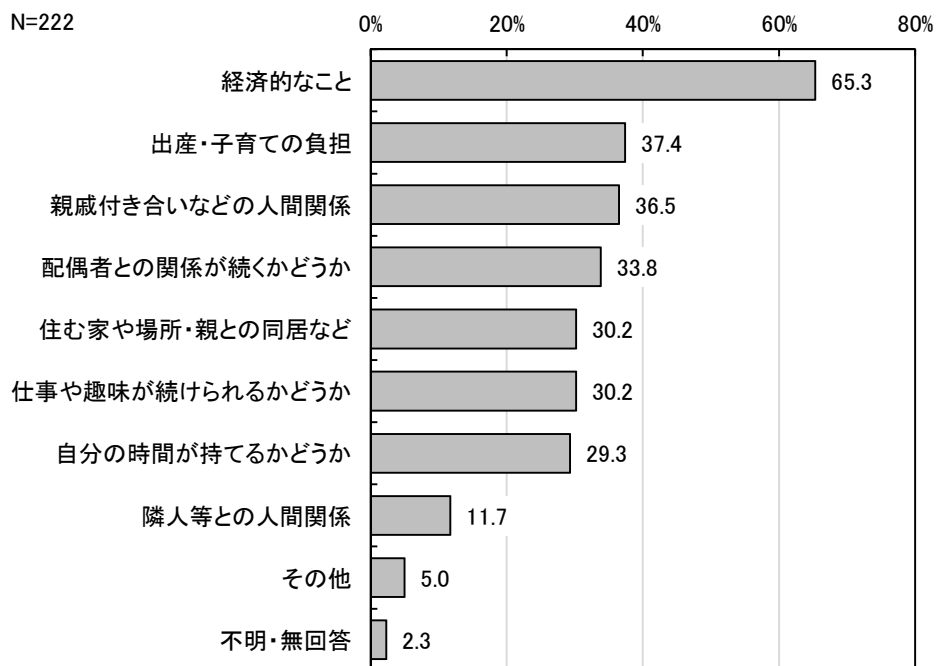
問 15 で「1. いずれ結婚するつもり」に○をつけた方

(19) 結婚を考えるとときに不安になること〈複数回答〉

〔問 19 結婚を考えるとときに不安になることはありますか。(あてはまるものすべてに○)〕

結婚を考えるとときに不安になることについてみると、「経済的なこと」が 65.3%で最も割合が高く、次いで「出産・子育ての負担」が 37.4%となっています。

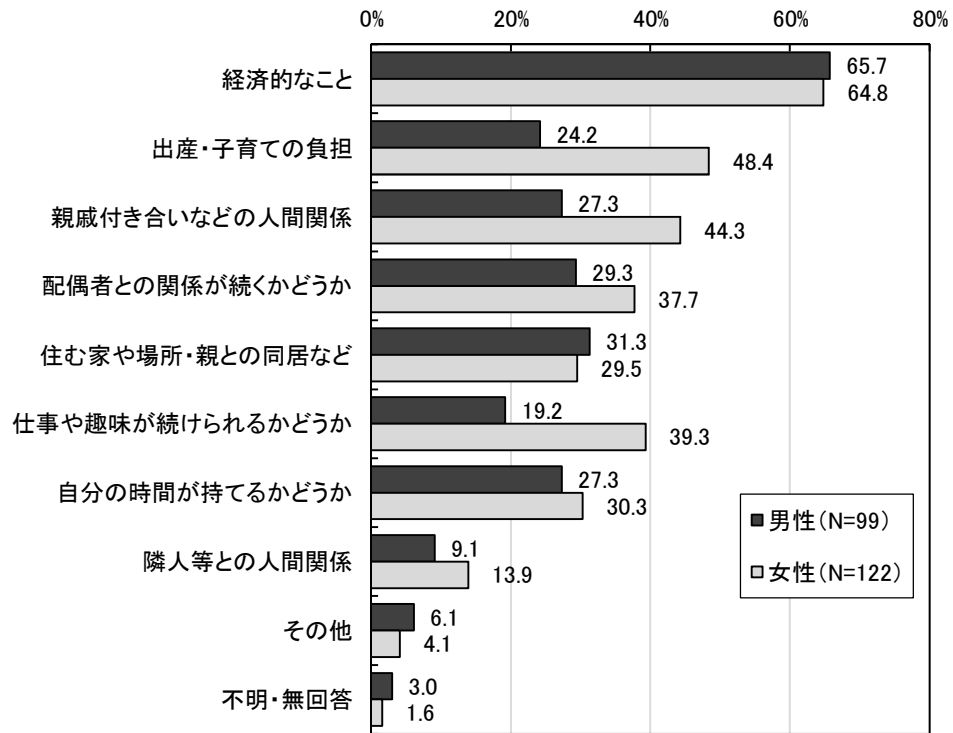
男女別にみると、「出産・子育ての負担」、「仕事や趣味が続けられるかどうか」では女性は男性の2倍の回答があり、「親戚付き合いなどの人間関係」についても女性の回答が多くなっています。



○その他回答

回答	件数
不安は特にない	6
保険などの手続きがよくわからない	1
主婦業ができるのか不安	1
相手の親の介護	1
離婚した時のデメリット	1
子供の学費	1

男女別にみた結婚を考えるとときに不安になること

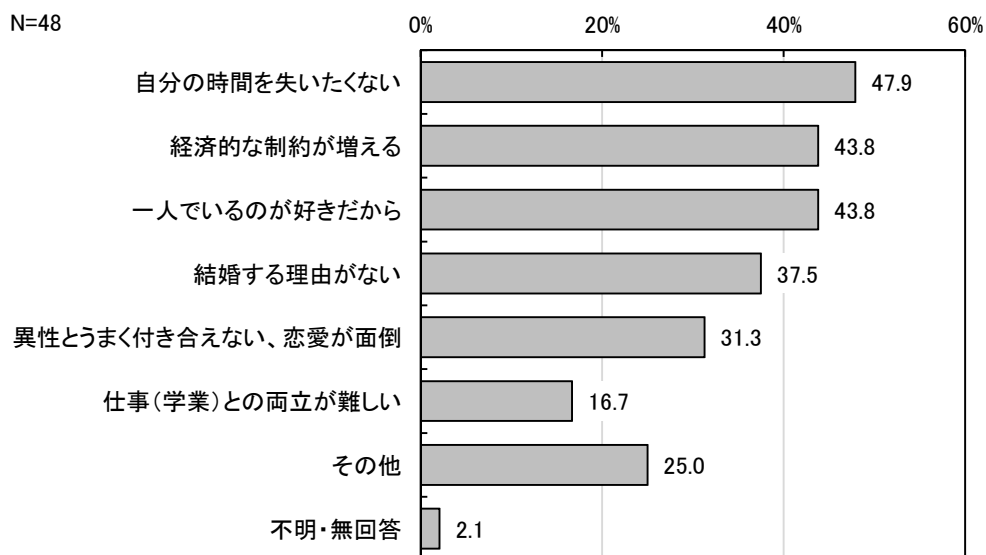


問 15 で「2. 結婚するつもりはない」を選んだ方

(20) 結婚するつもりがない方の、その理由〈複数回答〉

〔問 20 あなたが結婚するつもりはない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)〕

結婚するつもりがない方のその理由についてみると、「自分の時間を失いたくない」が 47.9%で最も割合が高く、次いで「経済的な制約が増える」「一人であるのが好きだから」がともに 43.8%、「結婚する理由がない」が 37.5%となっています。



○その他回答

回答	件数
結婚に魅力を感じない	1
多分良いご縁がないと思うので	1
離婚したばかりで考えられない	1
重度障害者の為結婚できない	1
ゲイなので制度自体ない	1
子供優先、恋愛しているひまはない	1
時間のムダ	1
持病	1
収入が少ない、生活できない	1
結婚をする資金がない	1
前の結婚生活でひどい目にあっただので	1

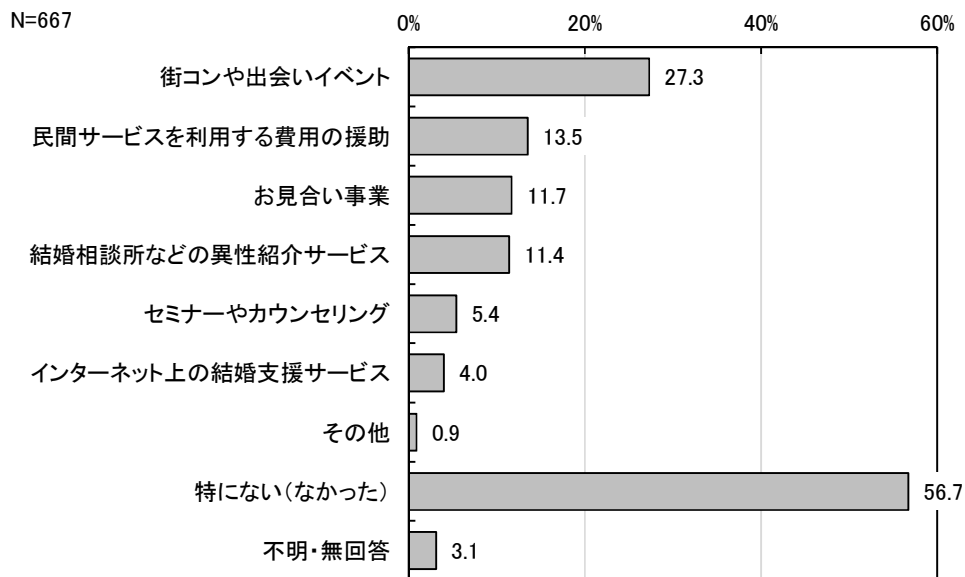
3 結婚の支援について

(21) 「結婚するために利用してみたい(利用してみたかった)サービス」や「あればいい(あればよかった)サービス」〈複数回答〉

〔問 21 結婚するために利用してみたい(利用してみたかった)、あるいはあればいい(あればよかった)サービスは何ですか。(あてはまるものすべてに○)〕

「結婚するために利用してみたい(利用してみたかった)サービス」や「あればいい(あればよかった)サービス」についてみると、「特にない(なかった)」が56.7%で最も割合が高くなっています。次いで「街コンや出会いイベント」が27.3%となっています。

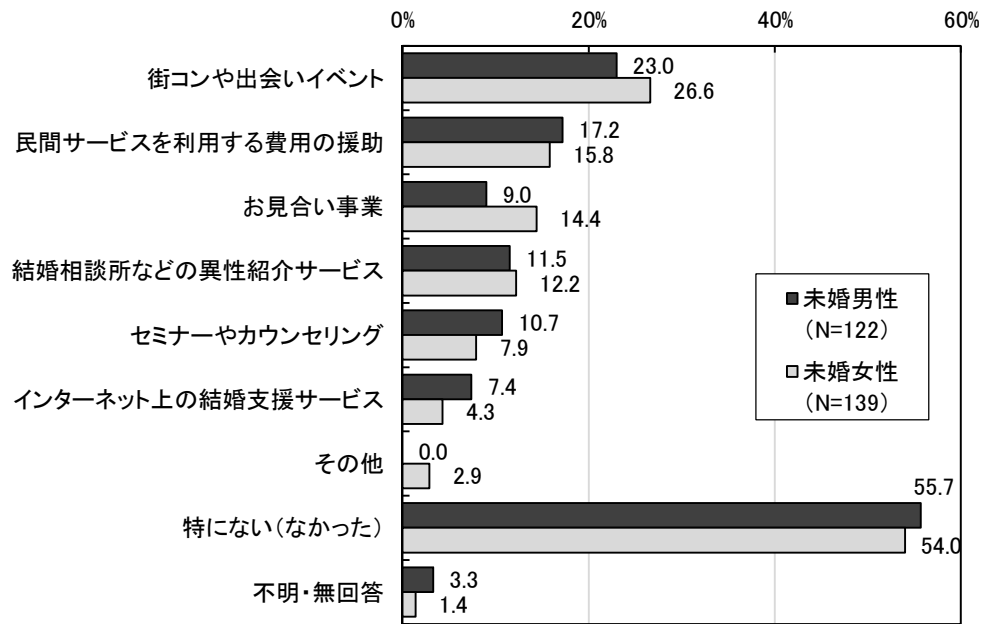
未婚者について男女別にみると、全体との差はそれほどありませんが、「街コンや出会いイベント」、「お見合い事業」について、やや女性の回答が多くなっています。



○その他回答

回答	件数
とにかく出会いの場求む!	1
国からお祝い金	1
卵子の保存	1

未婚者の男女別にみた利用してみたいサービス

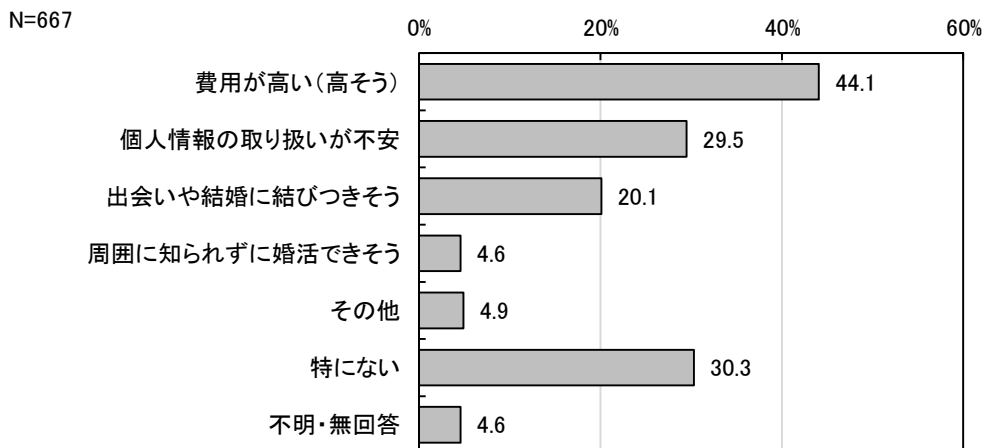


(22) 民間の結婚支援サービスを利用することに対する考え〈複数回答〉

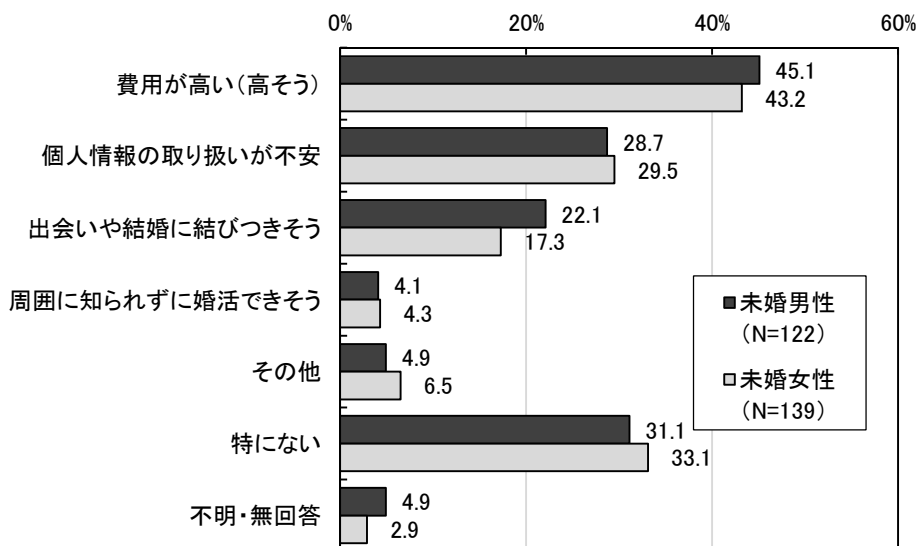
〔問 22 民間の結婚支援サービスを利用することについての感想をお聞かせ下さい。(あてはまるものすべてに○)〕

民間の結婚支援サービスを利用することに対する考えについてみると、「費用が高い(高そう)」が44.1%で最も割合が高く、次いで「特にない」が30.3%、「個人情報の取り扱いが不安」が29.5%となっています。

未婚の男女のみを抽出して回答状況をみましたが、全体の傾向とほとんど違いはありません。



未婚者の男女別にみた民間結婚支援サービスに対する考え



○その他回答

回答	件数
変な人が多そうで不安、信用できる人が来ているのか不安	5
利用したいと思わない、興味がない	4
会社自体があやしい、うさん臭い	3
サギがいそう	3
サクラが多そう、やらせ	3
出会いや結婚に結びつかなさそう	2
ストーカー等のトラブルが怖い	1
今まで結婚できなかった理由が納得できるような人しかいなさそう	1
知人に知られたくない	1
プライバシーをのぞかれる印象がある	1
当人が良いと思って利用するのはいいと思う	1
初対面の人が苦手	1
悪質商法、セミナー、宗教勧誘	1
堅苦しそう	1
民間の結婚支援サービスの宣伝が少なすぎて利用しにくい。登録したらいついつにこのサービスをやりますという知らせる手紙などがほしい	1
女性の理想が高そう	1
本当に素敵な人とは出会えなさそう。良い人は既に相手有で支援サービスを利用していなさそう	1
面倒な事が多そう	1
悪徳業者との区別が難しい	1
高卒じゃないとむりだったのであきらめた	1
以前利用していた。結婚できない人の集まりという印象だった	1
出会い系で出会いたい人は自分で見つけてくると思う。民間でやる必要はない	1

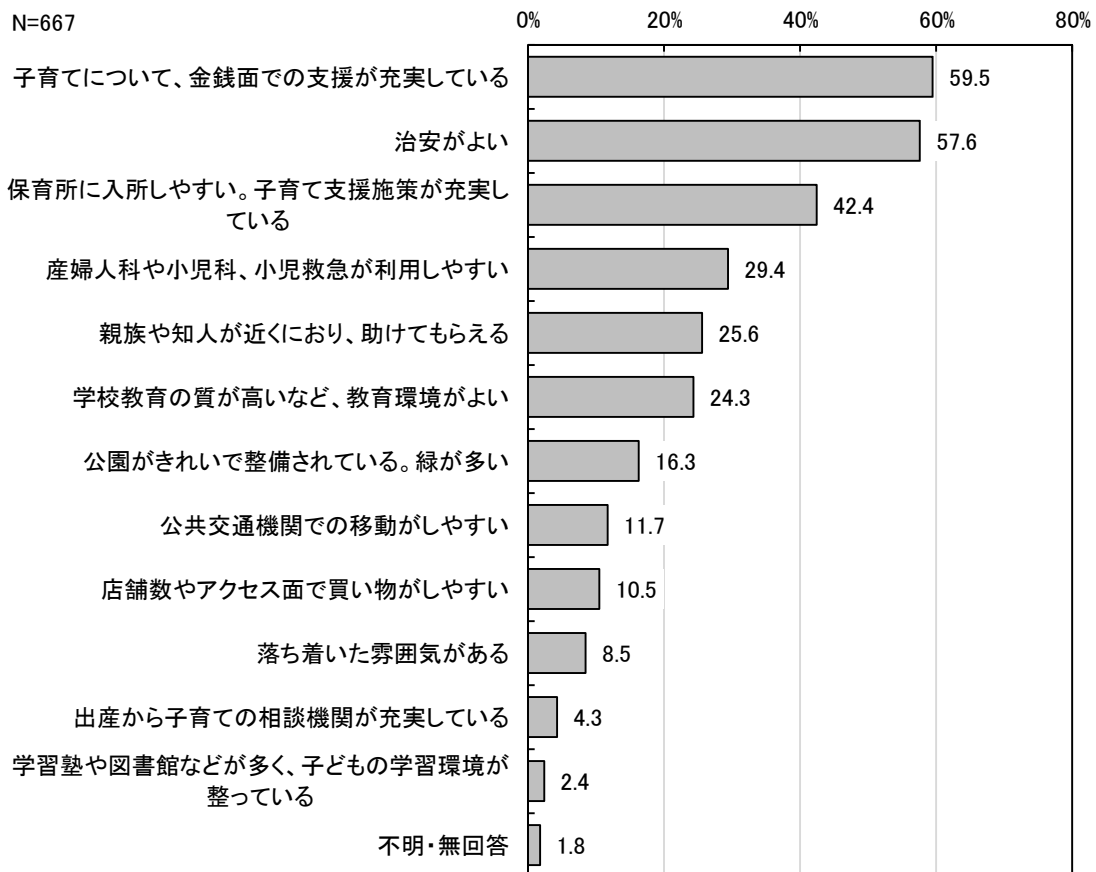
4 子育てについて

(23) 子どもを育てる上で、どのようなまちに住みたいか〈複数回答〉

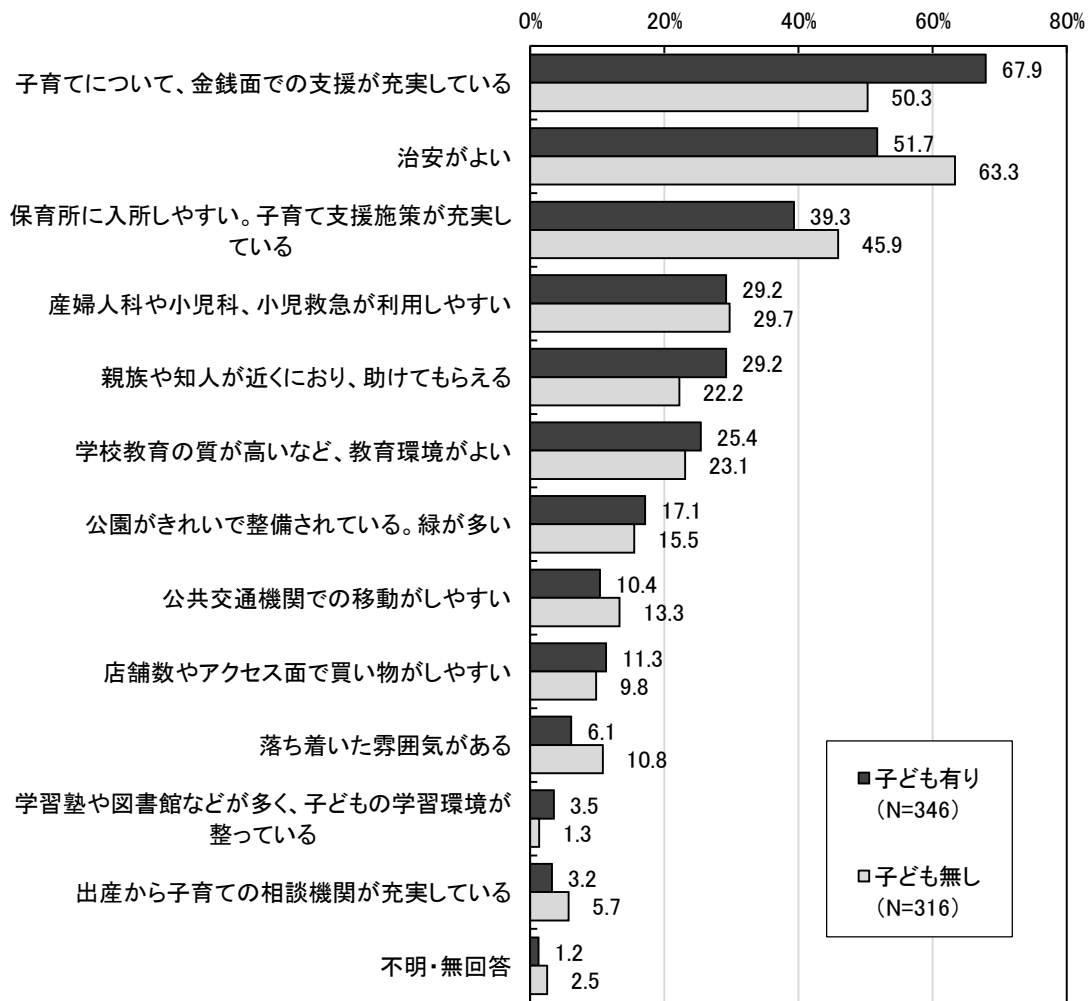
〔問 23 子どもを育てる上で、あなたが住みたいまちは、どのようなまちですか。(優先順位の高いもの3つに○)〕

子どもを育てる上でどのようなまちに住みたいかについてみると、「子育てについて、金銭面での支援が充実している」が59.5%で最も割合が高く、次いで「治安がよい」が57.6%、「保育所に入所しやすい。子育て支援施策が充実している」が42.4%、「産婦人科や小児科、小児救急が利用しやすい」が29.4%となっています。

子どもの有無別にみると、子どものいる回答者の方が「子育てについて、金銭面での支援が充実している」、「親族や知人が近くにおり、助けてもらえる」が多く、子どものいない回答者の方が、「治安がよい」、「保育所に入所しやすい。子育て支援施策が充実している」が多くなっています。なお、子どもの有無については、子どもがいる回答者の約7割を女性が占めており、やや偏りがありますが、この質問については男女の差はあまり見られないため、子どもの有無による差に男女差が影響しているとは言えません。



子どもの有無別にみた子どもを育てる上でどのようなまちに住みたいか

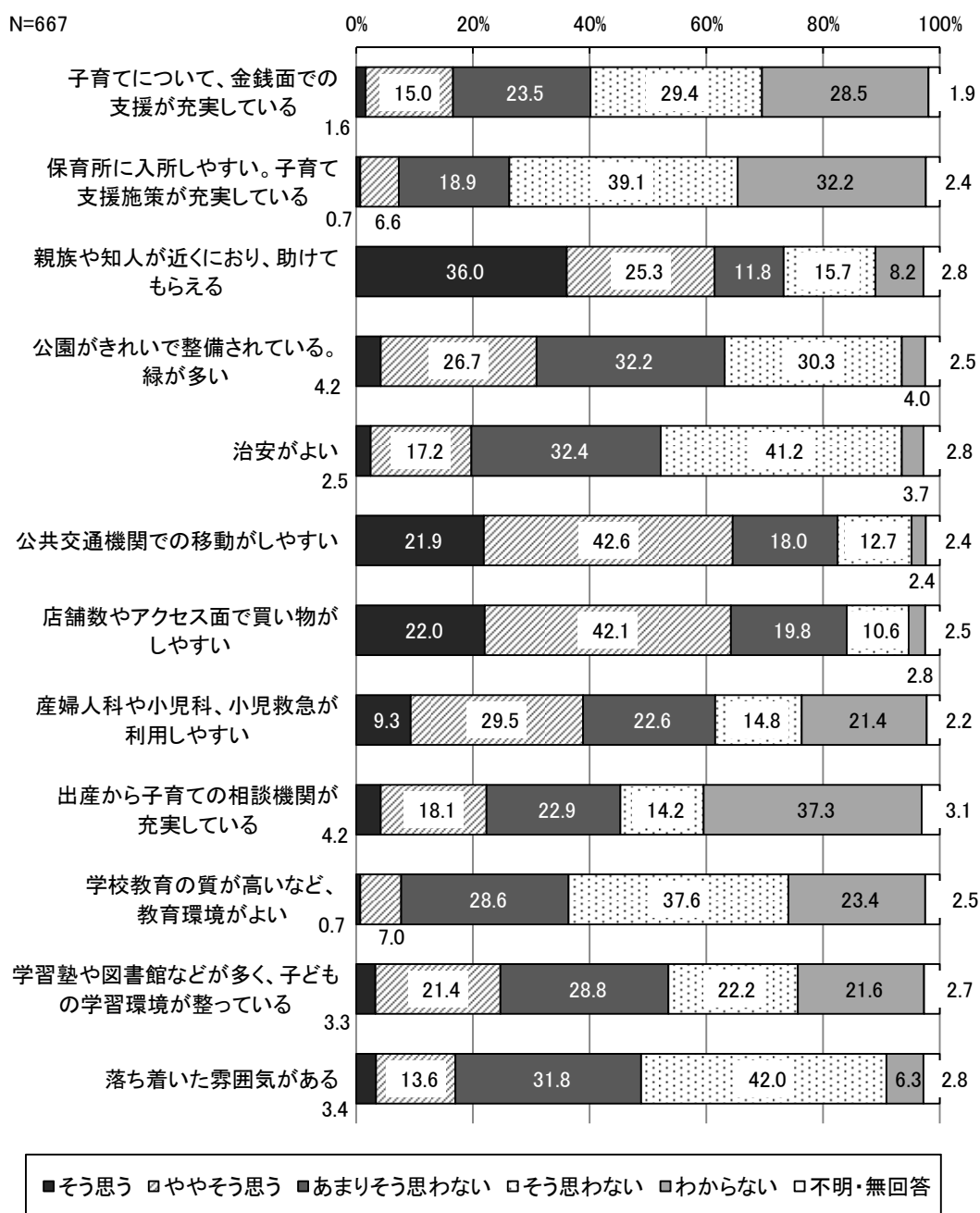


(24) 東大阪市の現状に対する考え〈単数回答〉

〔問 24 前の質問の各項目について、東大阪市の現状をどう思いますか。(それぞれ1つに〇)〕

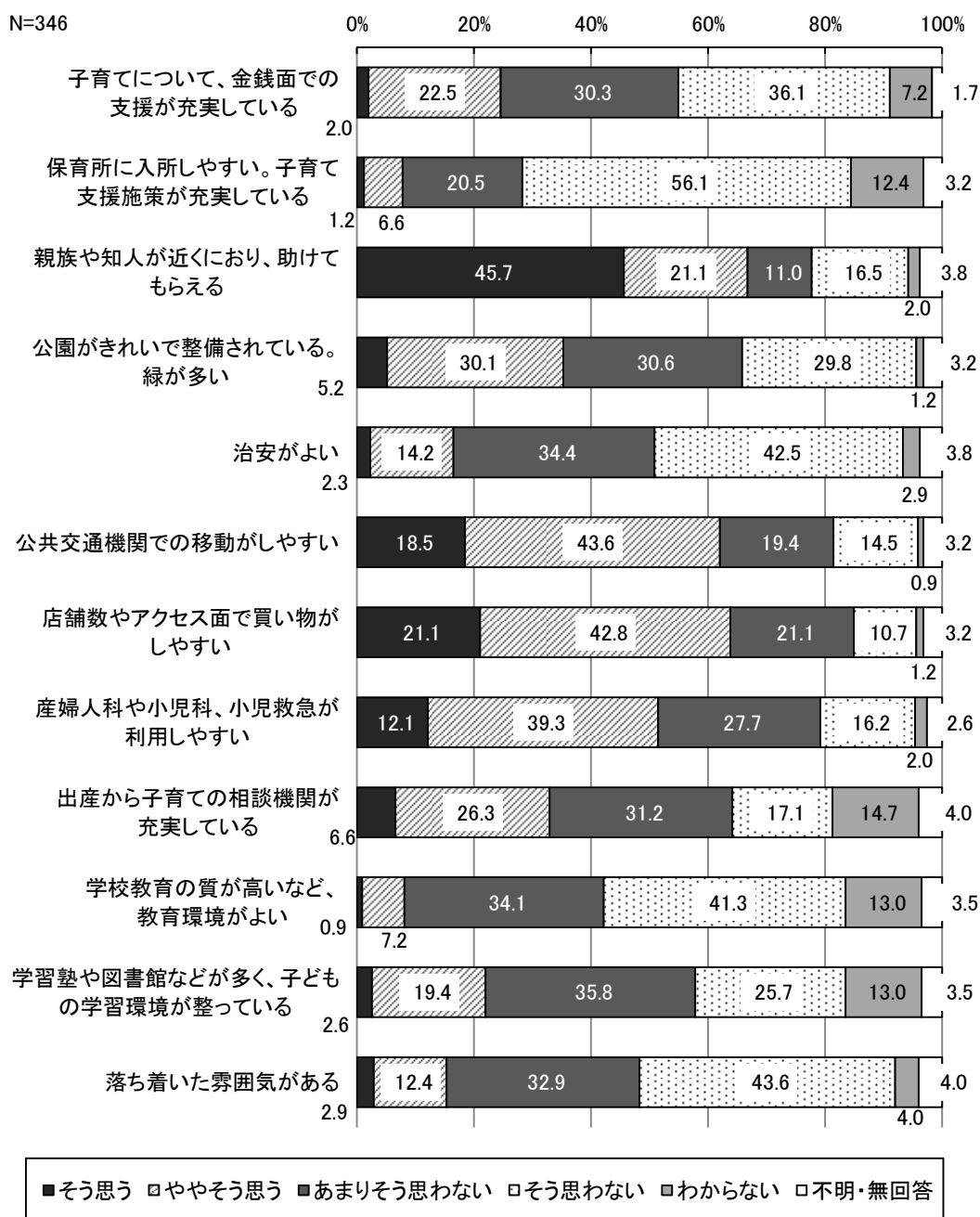
問 23 の各項目における東大阪市の現状に対する考えについてみると、『親族や知人が近くにおり、助けてもらえる』において「そう思う」の割合が 36.0% で最も高く、『公共交通機関での移動がしやすい』『店舗数やアクセス面で買い物がしやすい』においても肯定的な回答が多くなっています。

一方、『落ち着いた雰囲気がある』『治安がよい』において「そう思わない」の割合が特に高く、それぞれ 42.0%、41.2% となっています。また、『学校教育の質が高いなど、教育環境がよい』『公園がきれいで整備されている。緑が多い』『保育所に入所しやすい。子育て支援施策が充実している』『子育てについて、金銭面での支援が充実している』においても、否定的な回答が多くなっています。



問 23 の各項目における東大阪市の現状に対する考えについて、子どものいる回答者の回答のみを集計すると、全体的に「わからない」が減少します。また、全体の集計と比較して、『保育所に入所しやすい。子育て支援施策が充実している』、『学校教育の質が高いなど、教育環境がよい』、『学習塾や図書館などが多く、子どもの学習環境が整っている』ではそう思わないという回答（「そう思わない」と「あまりそう思わない」の合計）が多くなり、『親族や知人が近くにおり、助けてもらえる』、『産婦人科や小児科、小児救急が利用しやすい』ではそう思うという回答（「そう思う」と「ややそう思う」の合計）が多くなります。また、『公園がきれいで整備されている。緑が多い』でもそう思うという回答がやや多くなっています。

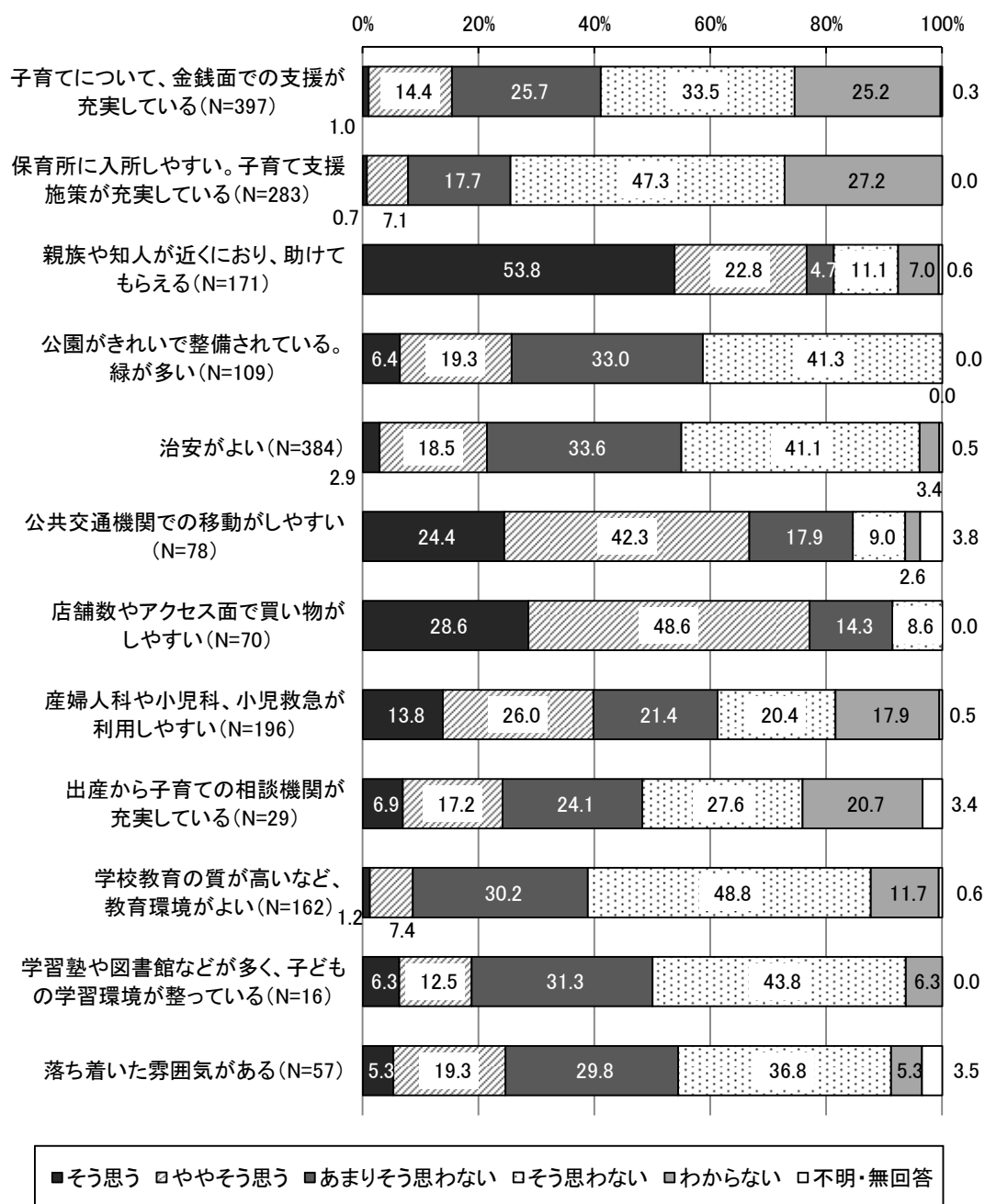
東大阪市の現状に対する考え（子どものいる回答者のみ）



回答者が重視する分野について、東大阪の現状をどのようにみているかを確認するために、問 24 の各設問について、問 23 でその項目を回答した人に限定して回答状況を見てみました。回答者数が問ごとに異なっているのは、問 23 でその項目を選択した人数が異なるためです。

『保育所に入所しやすい。子育て支援施策が充実している』、『公園がきれいで整備されている。緑が多い』、学校教育の質が高いなど、教育環境がよい』については、全体と比較して「そう思わない」が多く、その項目を重視する人ほど評価が低くなっています。一方で、『親族や知人が近くにおり、助けてもらえる』では全体と比較して大幅に「そう思う」が多くなり、『店舗数やアクセス面で買い物がしやすい』についても「そう思う」または「ややそう思う」という回答がやや多くなっています。

東大阪市の現状に対する考え（問 23 で選んだ項目のみ）

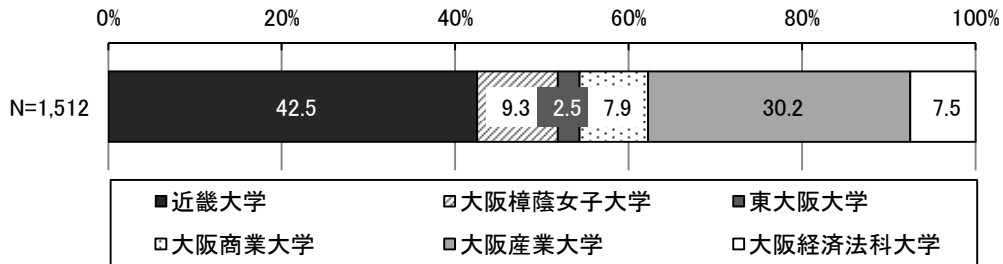


Ⅲ. 就職に関するアンケート調査結果

1 回答者について

(1) 通っている大学

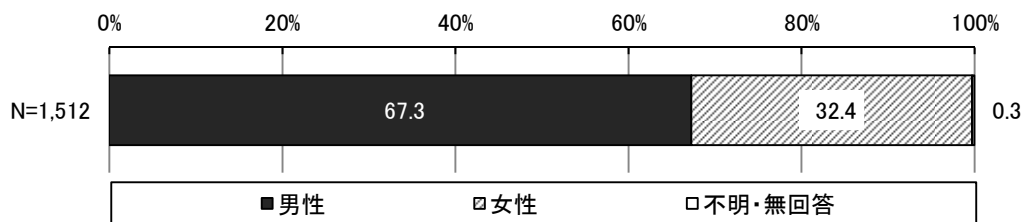
通っている大学についてみると、「近畿大学」が42.5%と最も高く、次いで「大阪産業大学」が30.2%、「大阪樟蔭女子大学」が9.3%となっています。



(2) 性別〈単数回答〉

〔問1 あなたの性別は、次のどれにあてはまりますか。(1つに〇)〕

性別についてみると、「男性」が67.3%、「女性」が32.4%となっています。



(3) 年齢・学年・文系理系の別〈数量回答・単数回答〉

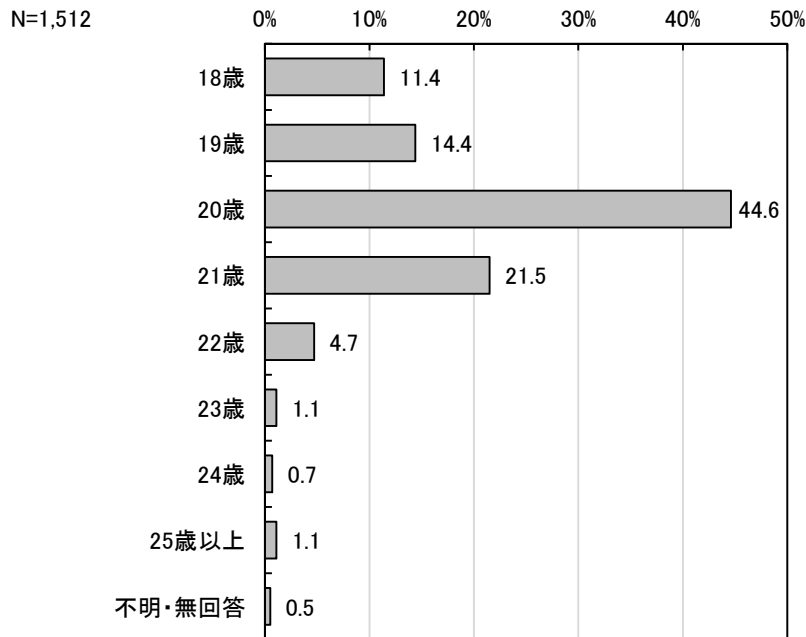
[問2 あなたの平成27年4月1日現在の年齢及び学年、文系理系の別を教えてください。]

年齢についてみると、「20歳」が44.6%と最も高く、次いで「21歳」が21.5%、「19歳」が14.4%となっています。

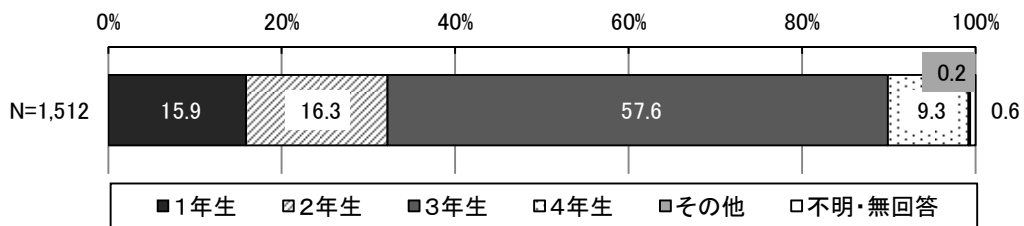
学年についてみると、「3年生」が57.6%と最も高く、次いで「2年生」が16.3%、「1年生」が15.9%となっています。

文系理系の別についてみると、「文系」が64.3%、「理系」が33.1%となっています。

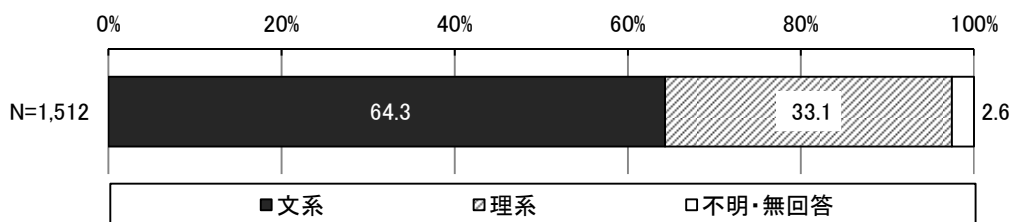
■年齢



■学年



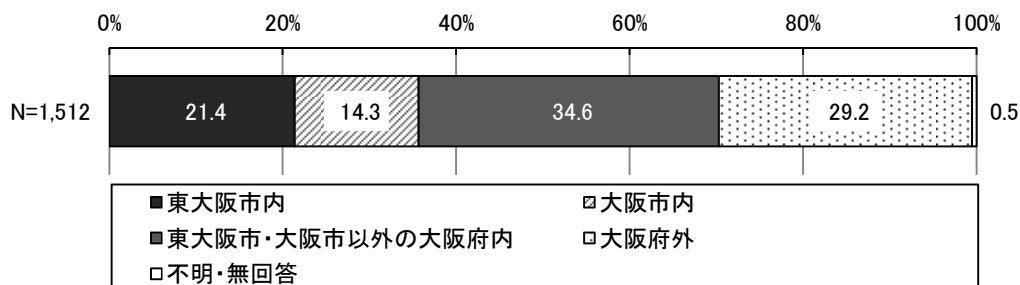
■文系理系の別



(4) 現在の住まい〈単数回答〉

〔問3 あなたの現在の住まいはどこですか。(1つに○)〕

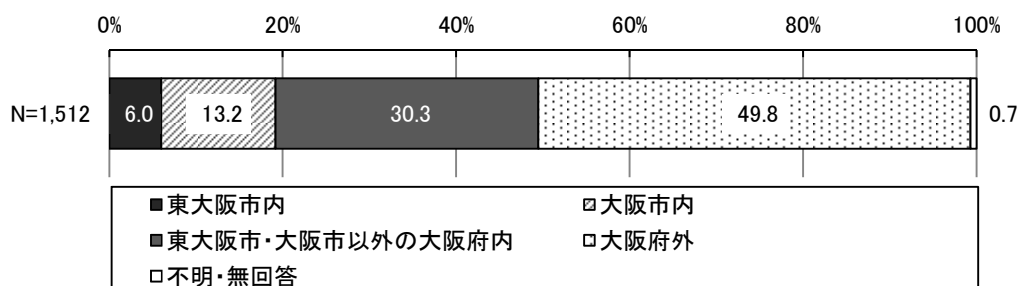
現在の住まいについてみると、「東大阪市・大阪市以外の大阪府内」が34.6%と最も高く、次いで「大阪府外」が29.2%、「東大阪市内」が21.4%となっています。



(5) 地元（実家のある場所）〈単数回答〉

〔問4 あなたの地元(実家のある場所)はどこですか。(1つに○)〕

地元（実家のある場所）についてみると、「大阪府外」が49.8%と最も高く、次いで「東大阪市・大阪市以外の大阪府内」が30.3%、「大阪市内」が13.2%となっています。

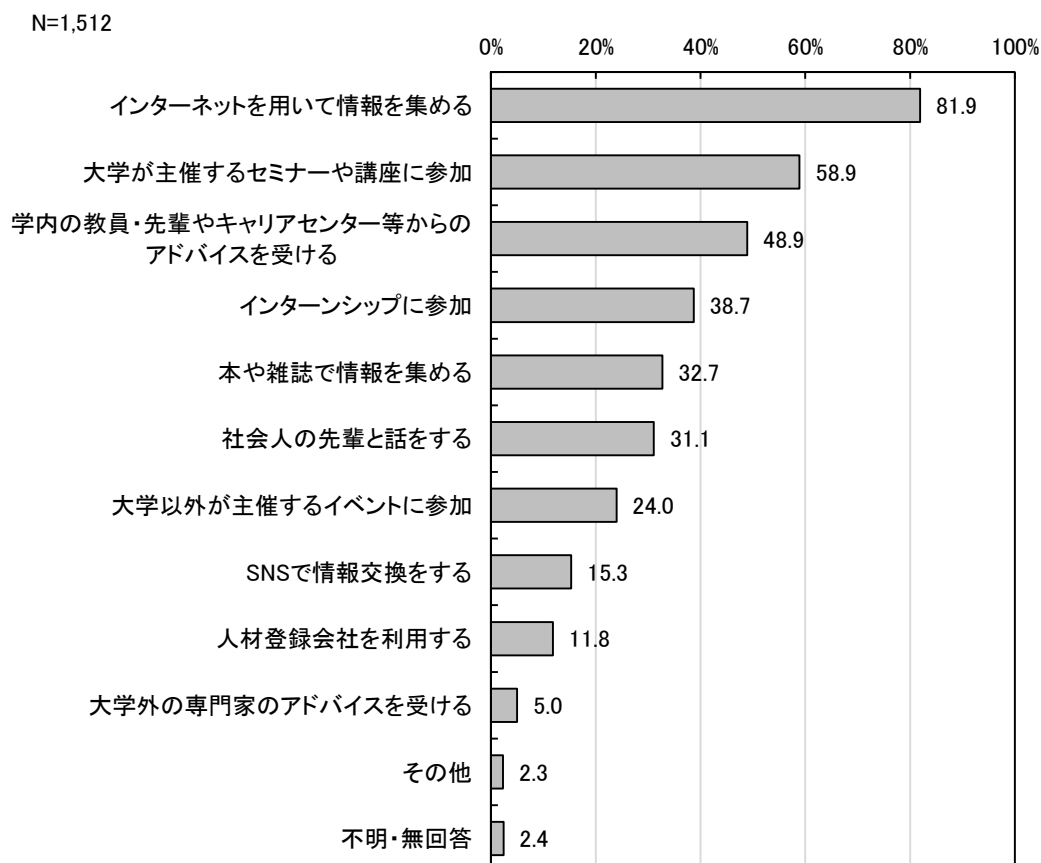


2 今後の就職活動について

(1) 就職活動をするにあたって、どのような準備をするか〈複数回答〉

〔問5 あなたは就職活動をするにあたって、どのような準備をしますか。(あてはまるものすべてに○)〕

就職活動をするにあたって、どのような準備をするかについてみると、「インターネットを用いて情報を集める」が81.9%と最も高く、次いで「大学が主催するセミナーや講座に参加」が58.9%、「学内の教員・先輩やキャリアセンター等からのアドバイスを受ける」が48.9%となっています。



○その他回答

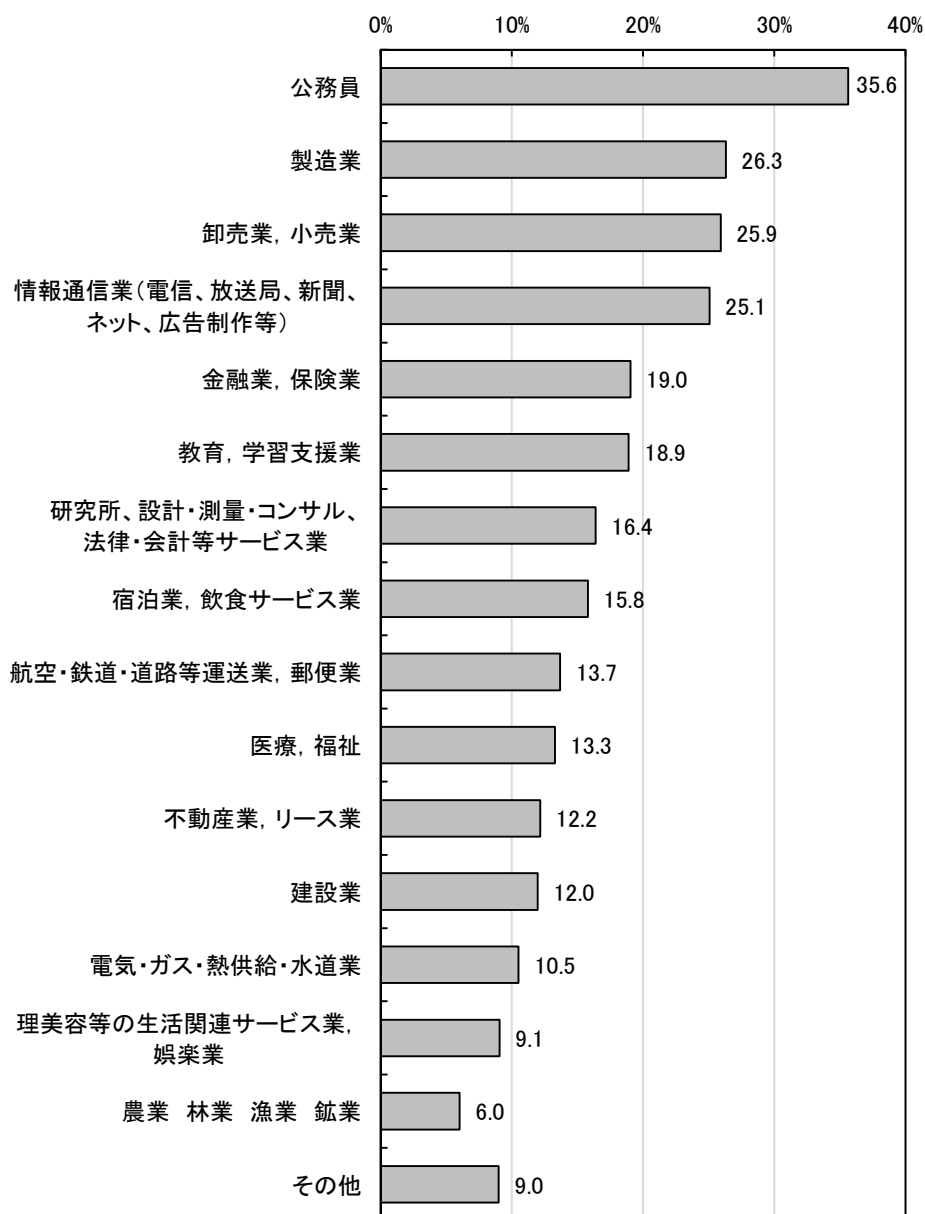
回答	件数
まだ行動してない、考えていない	6
家族に相談する・アドバイスを受ける	3
就職ナビ	1
ハローワーク	1
逆求人型就活サイト	1
高校の先生に相談	1
内定をもらったせんぱいからシュウカツに使ったパンフレットをもらう	1
SPI	1
店をやってる人等に話をきく	1
自分で哲学する	1
教員志望なのでしません	1
もう就職している友人から助言をもらう	1
企業との交流会へ参加	1
大学への数学学力コンテストの成績優秀者欄に名前を掲載させ、大学入試相当問題を解く力があることを示す	1
就活しない	1
大学院進学希望のため準備していない	1
外国語の勉強をする	1
資格を取る	1
深夜に会社に出向き、深夜遅くまで会社の明かりが点いていない、休日は閉まっていることを確認する	1

(2) 就職したいと考えている業種〈単数回答〉

[問6 あなたはどのような業種に就職したいと考えていますか。第3希望までの番号を()内に記入してください。]

就職したいと考えている業種についてみると、「公務員」が35.6%と最も高く、次いで「製造業」が26.3%、「卸売業、小売業」が25.9%、「情報通信業（電信、放送局、新聞、ネット、広告制作等）」が25.1%となっています。

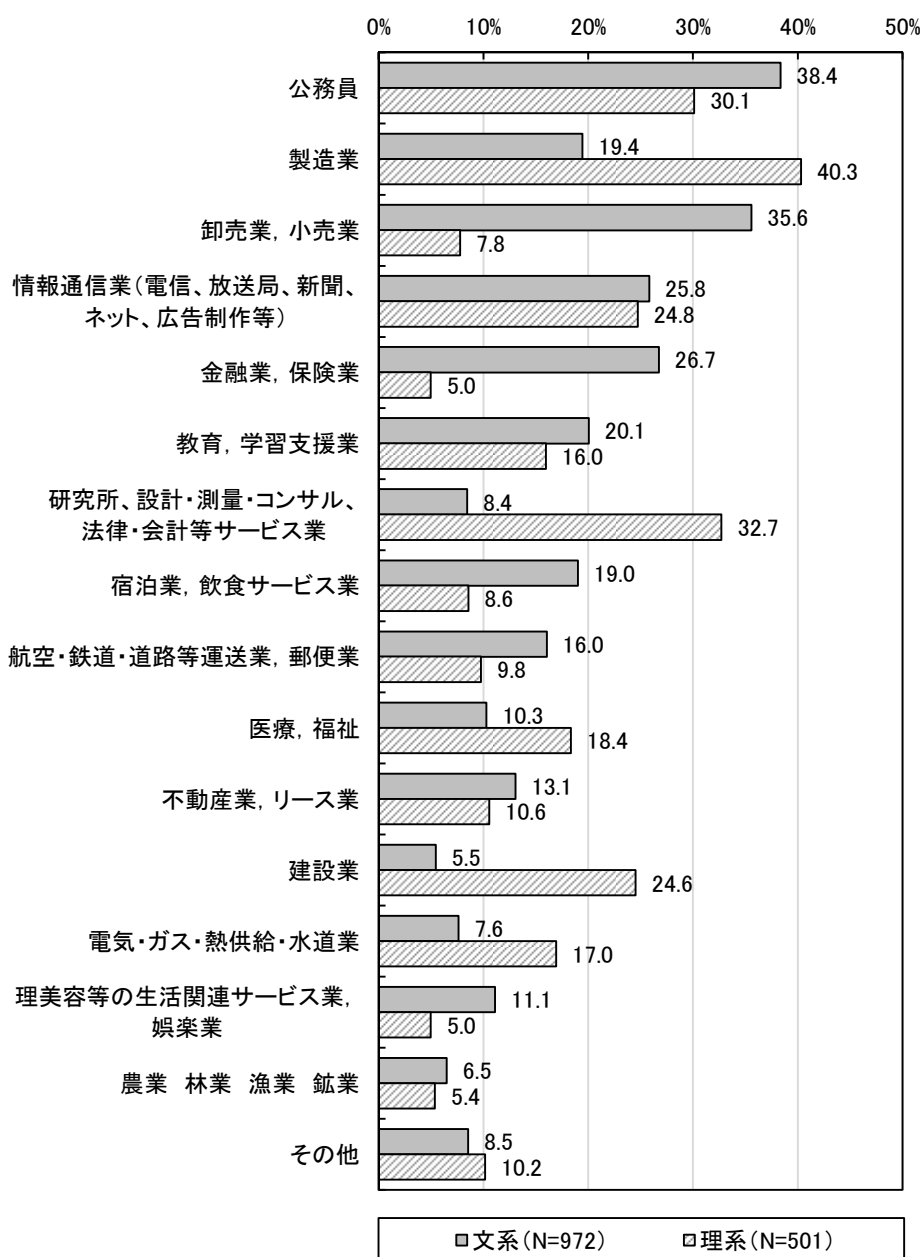
N=1,512



■就職したいと考えている業種×文系・理系別

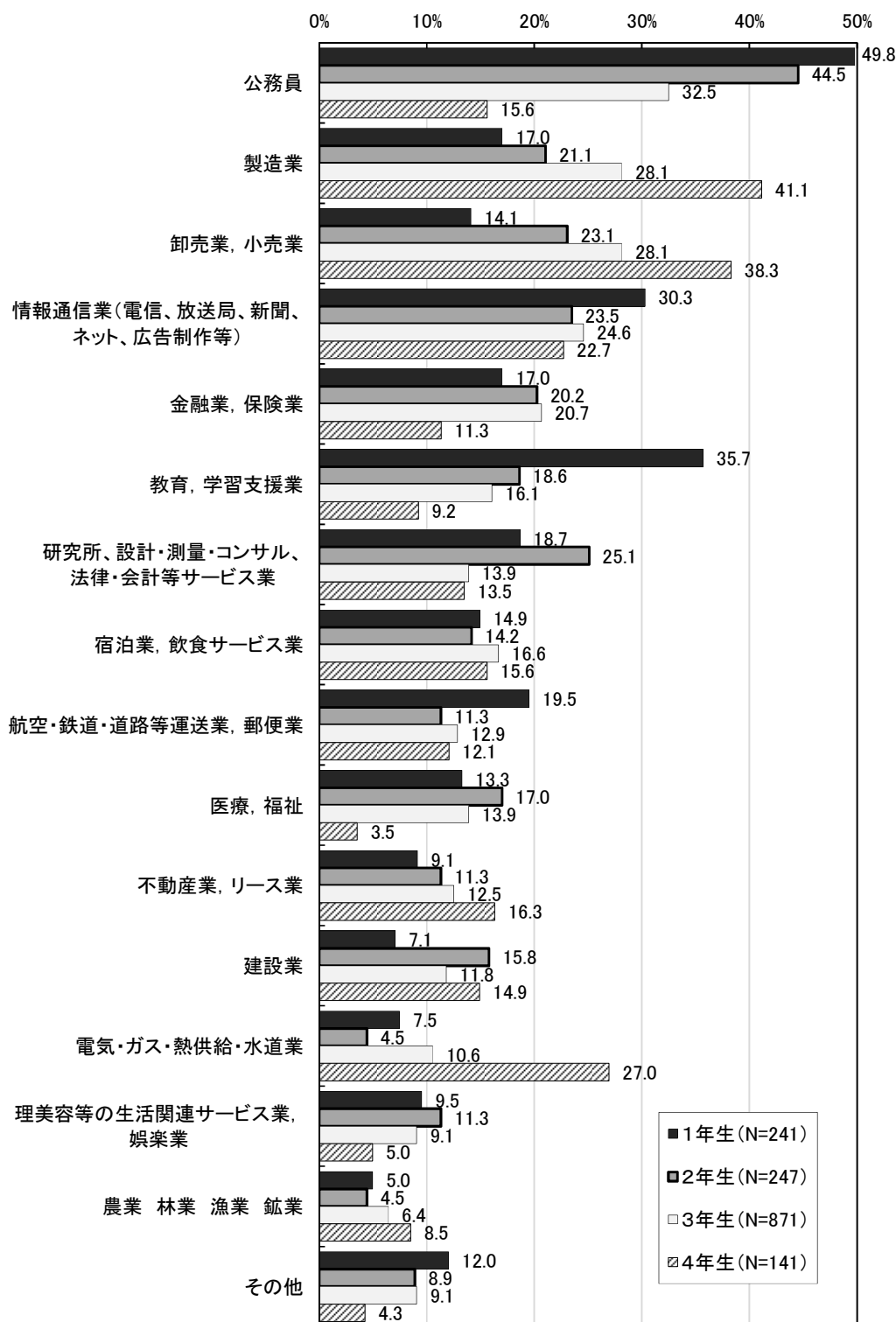
就職したいと考えている業種について文系・理系別にみると、文系では「公務員」が38.4%と最も高く、次いで「卸売業、小売業」が35.6%、「金融業、保険業」が26.7%、「情報通信業（通信、放送局、新聞、ネット、広告制作等）」が25.8%となっています。

理系では「製造業」が40.3%と最も高く、次いで「研究所、設計・測量・コンサル、法律・会計等サービス業」が32.7%、「公務員」が30.1%となっています。



■就職したいと考えている業種×学年別

就職したいと考えている業種について学年別にみると、「公務員」、「教育、学習支援業」は下の学年ほど多く、「製造業」、「卸売業、小売業」は上の学年ほど多くなっています。これらの業種については、学年が上がるほど、現在の日本社会における業種別就労者の比率に近づいていると言えます。就職が近づくにつれて、より社会状況に合わせた希望へと調整されていることがうかがえます。

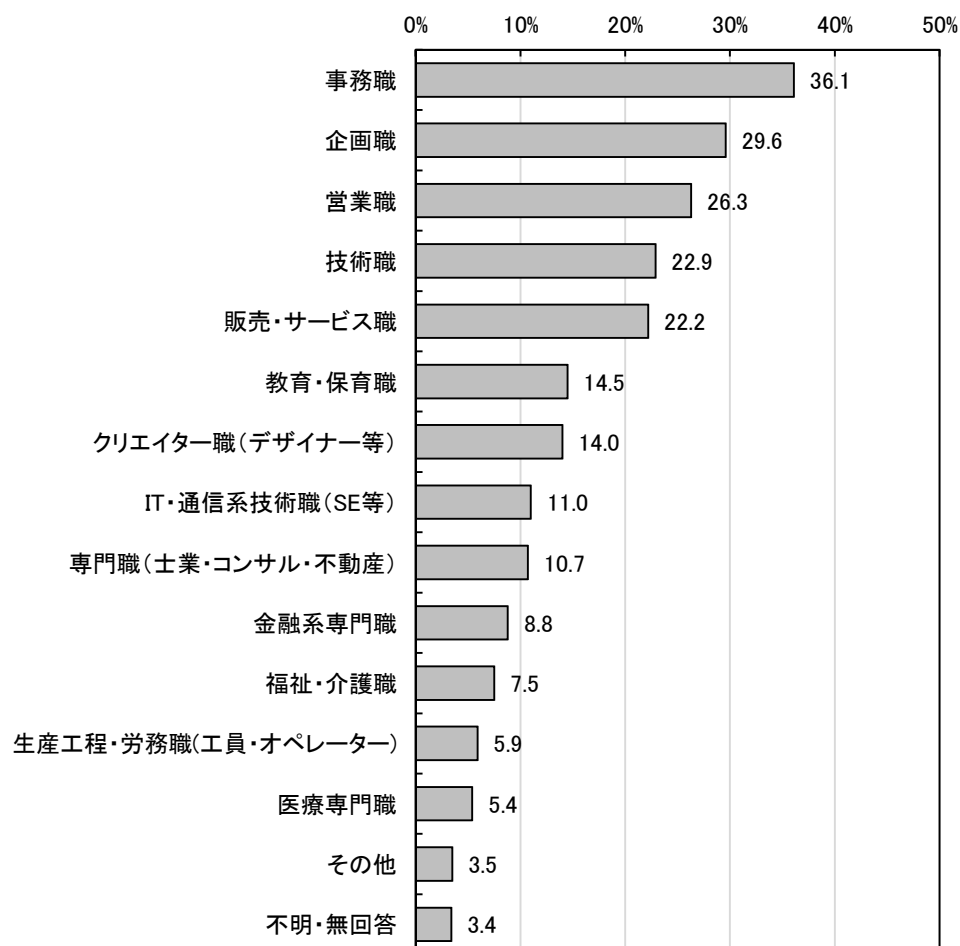


(3) 希望している職種〈複数回答〉

〔問7 あなたはどのような職種を希望していますか。(あてはまるものすべてに○)〕

希望している職種についてみると、「事務職」が36.1%と最も高く、次いで「企画職」が29.6%、「営業職」が26.3%となっています。

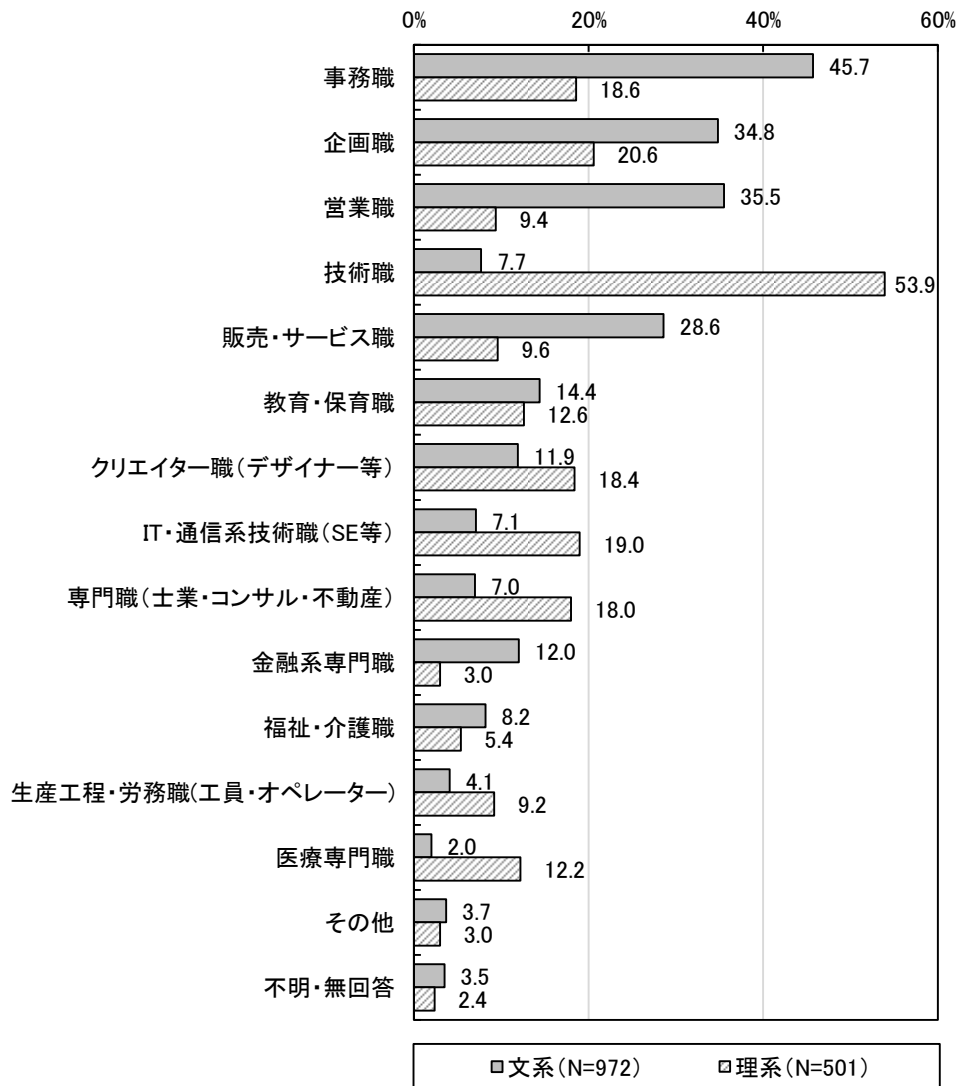
N=1,512



■希望している職種×文系・理系別

希望している職種について文系・理系別にみると、文系では「事務職」が45.7%と最も高く、次いで「営業職」が35.5%、「企画職」が34.8%となっています。

理系では「技術職」が53.9%と最も高く、次いで「企画職」が20.6%、「IT・通信系技術職（SE等）」が19.0%となっています。

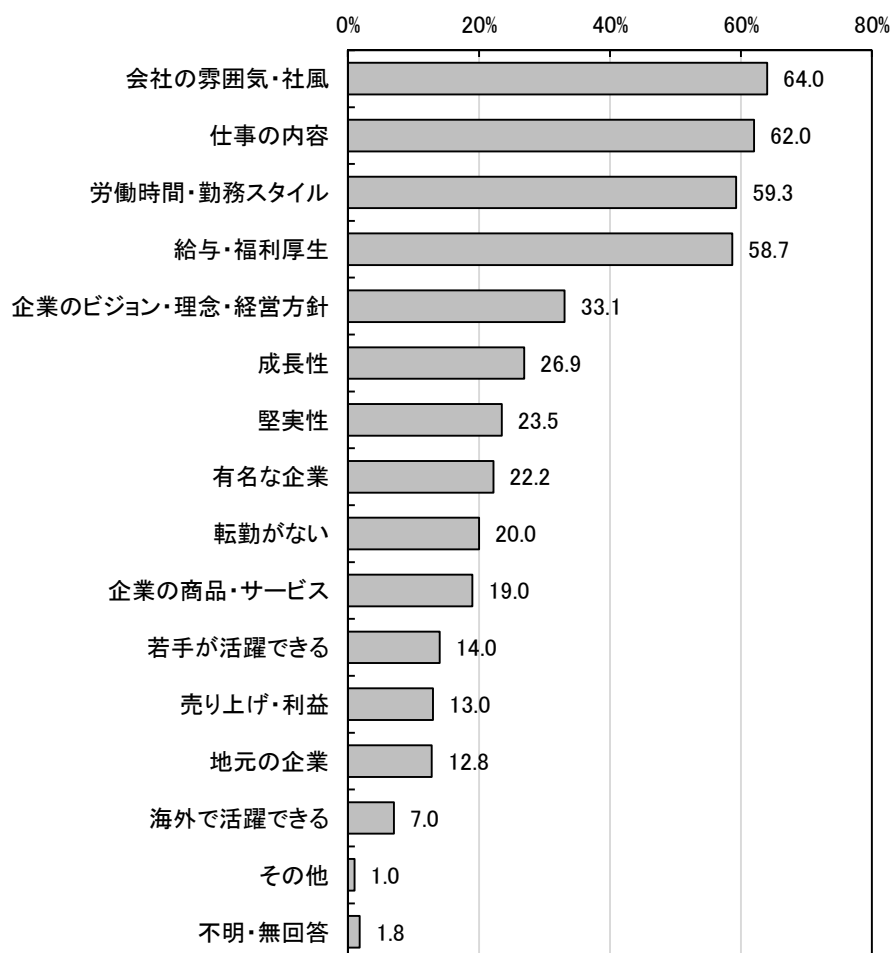


(4) 会社を選ぶ際に重視する観点〈複数回答〉

〔問8 会社を選ぶ観点は次のうちどれを重視しますか。(あてはまるものすべてに〇)〕

会社を選ぶ際に重視する観点についてみると、「会社の雰囲気・社風」が64.0%と最も高く、次いで「仕事の内容」が62.0%、「労働時間・勤務スタイル」が59.3%、「給与・福利厚生」が58.7%となっています。

N=1,512

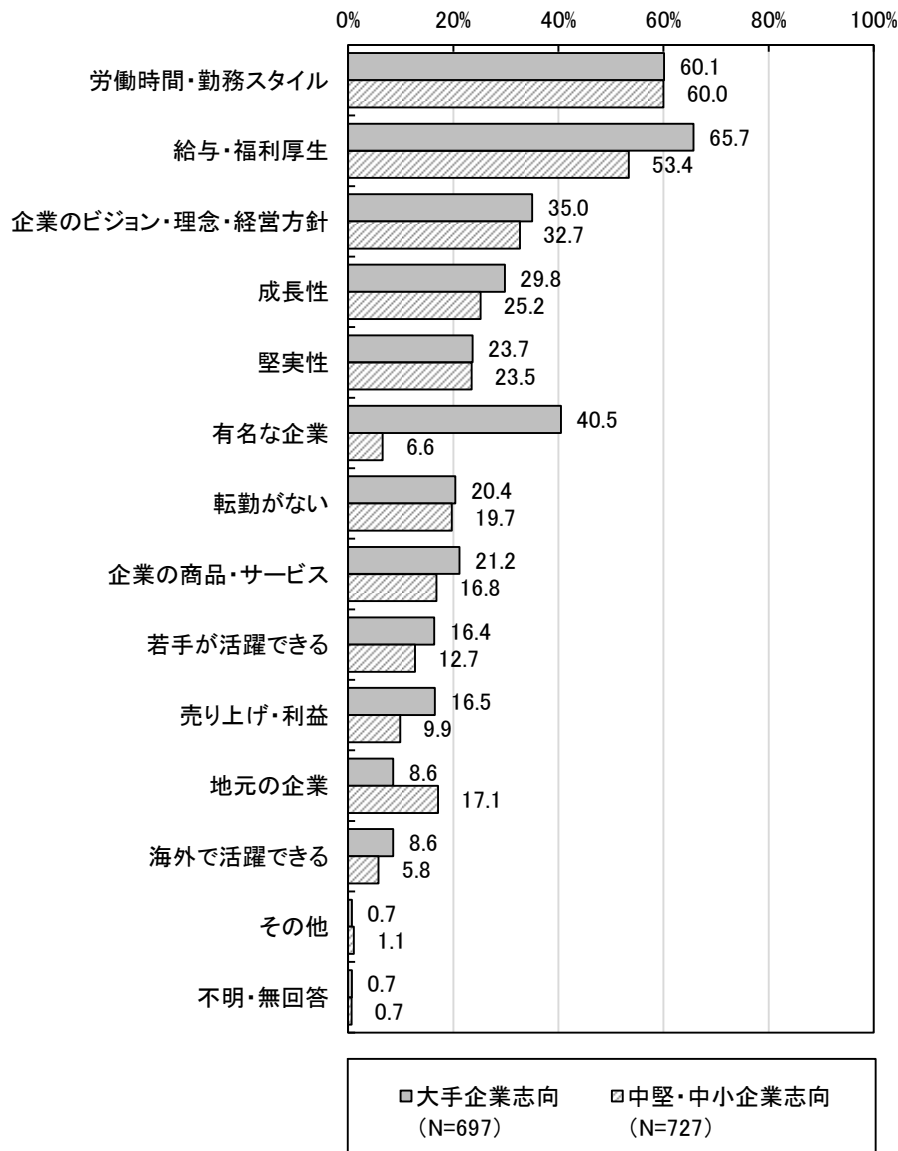


○その他回答

回答	件数
ブラック企業ではないこと	4
地元から通える企業	2
やりがい	2
楽しそうかどうか	1
経営スキル	1
離職率など	1
転勤が少ない	1
女性のかつやく	1
教育システムがしっかりしている	1
働いている社員数と男女比	1
自分の力が生かせるかどうか	1
50年生き延びるか	1
自分の就きたい職種かどうか	1

■会社を選ぶ際に重視する観点×大手企業志向、中堅・中小企業志向別

会社を選ぶ際に重視する観点について大手企業志向、中堅・中小企業志向別にみると、「給与・福利厚生」、「有名な企業」、「企業の商品・サービス」、「若手が活躍できる」、「売上・利益」については大手企業志向の方が回答が多く、「地元の企業」については中堅・中小企業志向の方が多く回答しています。



※大手企業志向／中堅・中小企業志向

回答者の大手企業志向と中堅・中小企業志向については、問9（4）「中堅・中小企業より大手企業に就職したい」という問いに対して、「そう思う」または「ある程度そう思う」と回答した人を「大手企業志向」、「そう思わない」または「あまりそう思わない」と回答した人を「中堅・中小企業志向」と分類しています。

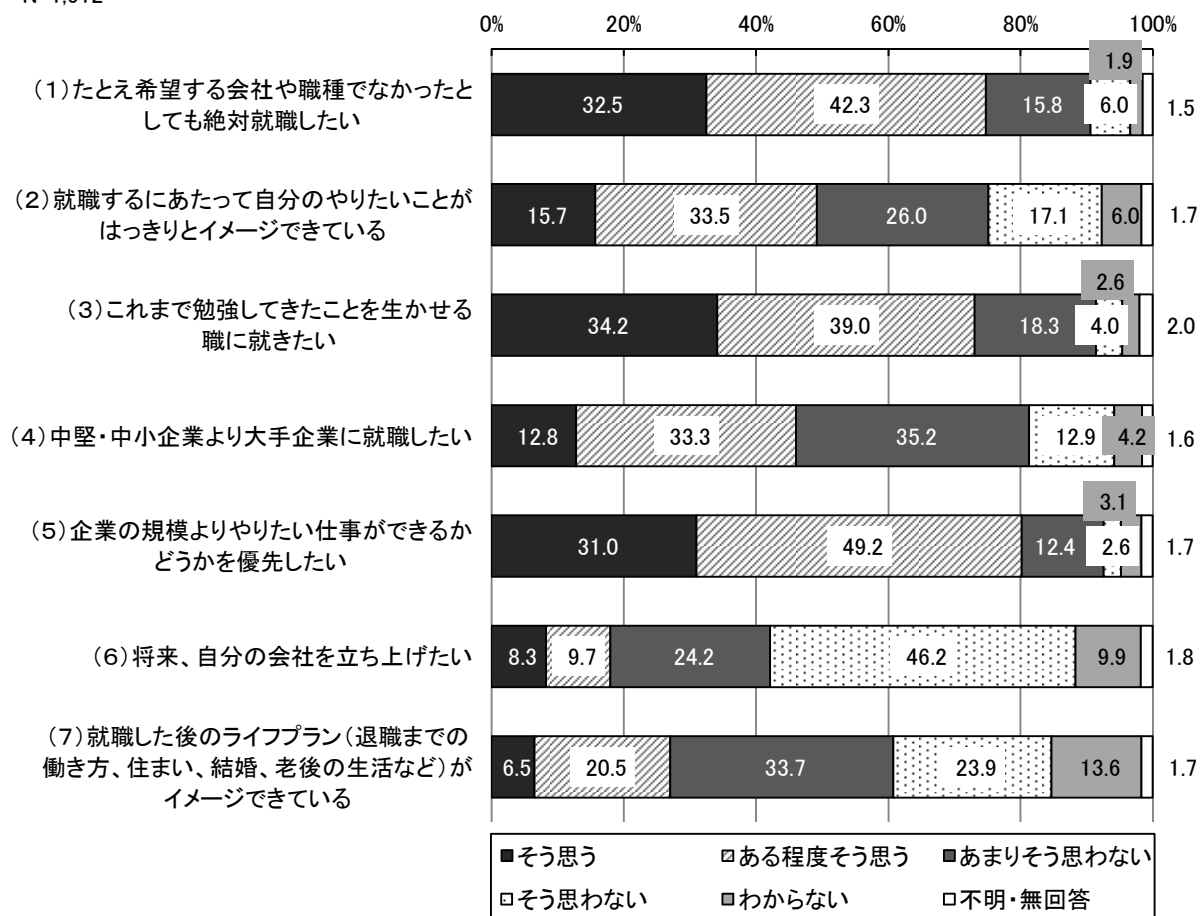
(5) 就職に関する考え〈単数回答〉

〔問9 あなたは、就職に関する次の問いについてどのように思いますか。(1)～(7)のそれぞれについて、あなたの考えに最も近いものを1～5から選んで○をつけてください。〕

就職に関する考えについてみると、『そう思う(「そう思う」と「ある程度そう思う」の合計)』は「(5) 企業の規模よりやりたい仕事ができるかどうかを優先したい」が80.2%と最も高く、次いで「(1) たとえ希望する会社や職種でなかったとしても絶対就職したい」が74.8%、「(3) これまで勉強してきたことを生かせる職に就きたい」が73.2%となっています。

『そう思わない(「あまりそう思わない」と「そう思わない」の合計)』は「(6) 将来、自分の会社を立ち上げたい」が70.4%と最も高く、次いで「(7) 就職した後のライフプラン(退職までの働き方、住まい、結婚、老後の生活など)がイメージできている」が57.6%となっています。

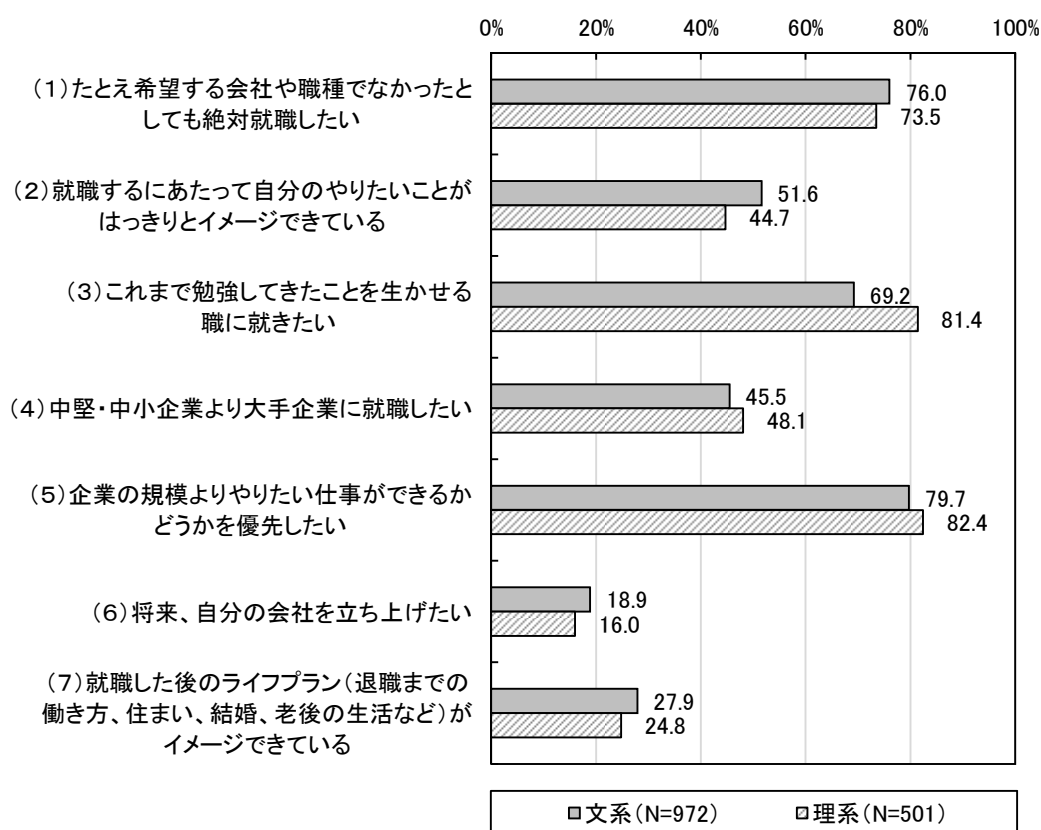
N=1,512



■就職に関する考え×文系・理系別

就職に関する考えについて文系・理系別にみると、『そう思う(「そう思う」と「ある程度そう思う」の合計)』は文系では「(5) 企業の規模よりやりたい仕事ができるかどうかを優先したい」が79.7%と最も高く、次いで「(1) たとえ希望する会社や職種でなかったとしても絶対就職したい」が76.0%、「(3) これまで勉強してきたことを生かせる職に就きたい」が69.2%となっています。

理系では「(5) 企業の規模よりやりたい仕事ができるかどうかを優先したい」が82.4%と最も高く、次いで「(3) これまで勉強してきたことを生かせる職に就きたい」が81.4%、「(1) たとえ希望する会社や職種でなかったとしても絶対就職したい」が73.5%となっています。

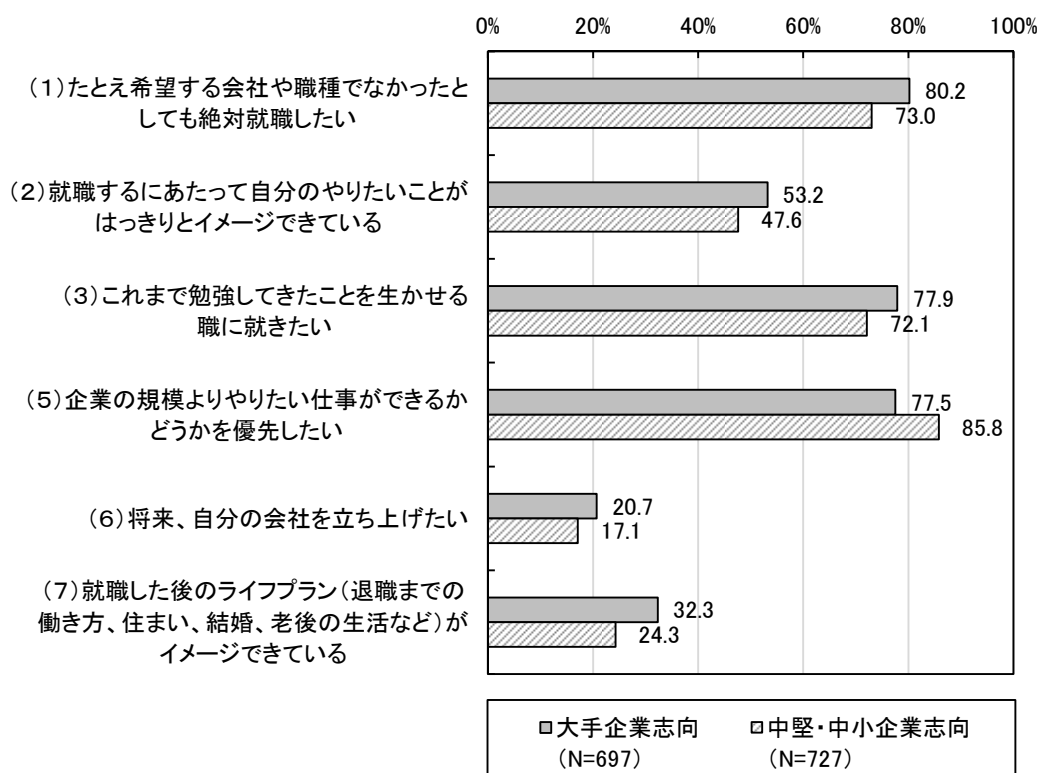


※『そう思う(「そう思う」と「ある程度そう思う」の合計)』の割合を示しています。

■就職に関する考え×大手企業志向、中堅・中小企業志向別

就職に関する考えについて大手企業志向、中堅・中小企業志向別にみると、『そう思う（「そう思う」と「ある程度そう思う」の合計）』は大手企業志向では「(1) たとえ希望する会社や職種でなかったとしても絶対就職したい」が80.2%と最も高く、次いで「(3) これまで勉強してきたことを生かせる職に就きたい」が77.9%、「(5) 企業の規模よりやりたい仕事ができるかどうかを優先したい」が77.5%となっています。

中堅・中小企業志向では「(5) 企業の規模よりやりたい仕事ができるかどうかを優先したい」が85.8%と最も高く、次いで「(1) たとえ希望する会社や職種でなかったとしても絶対就職したい」が73.0%、「(3) これまで勉強してきたことを生かせる職に就きたい」が72.1%となっています。

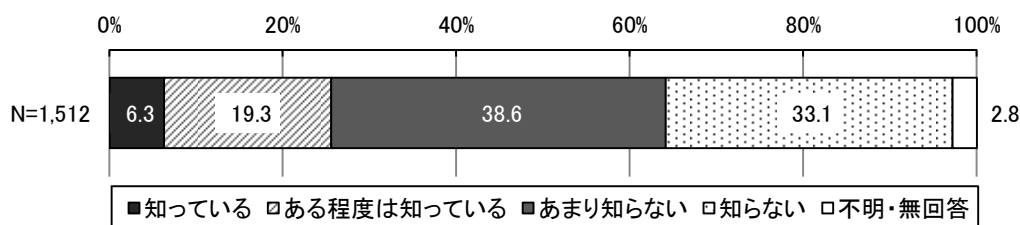


※『そう思う（「そう思う」と「ある程度そう思う」の合計）』の割合を示しています。

(6) 東大阪市にどのような企業が多く立地しているか知っているか〈単数回答〉

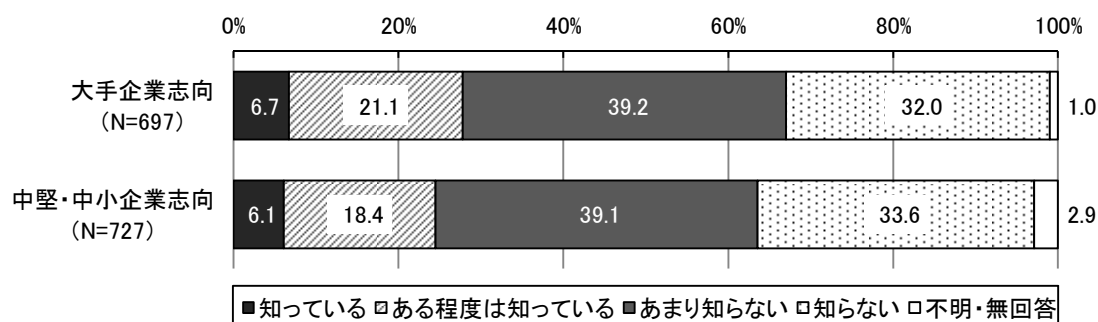
〔問 10 東大阪市にどのような企業が多く立地しているかということを知っていますか。(1つに○)〕

東大阪市にどのような企業が多く立地しているか知っているかについてみると、「あまり知らない」が 38.6%と最も高く、次いで「知らない」が 33.1%、「ある程度は知っている」が 19.3%となっています。



■東大阪市にどのような企業が多く立地しているか知っているか×大手企業志向、中堅・中小企業志向別

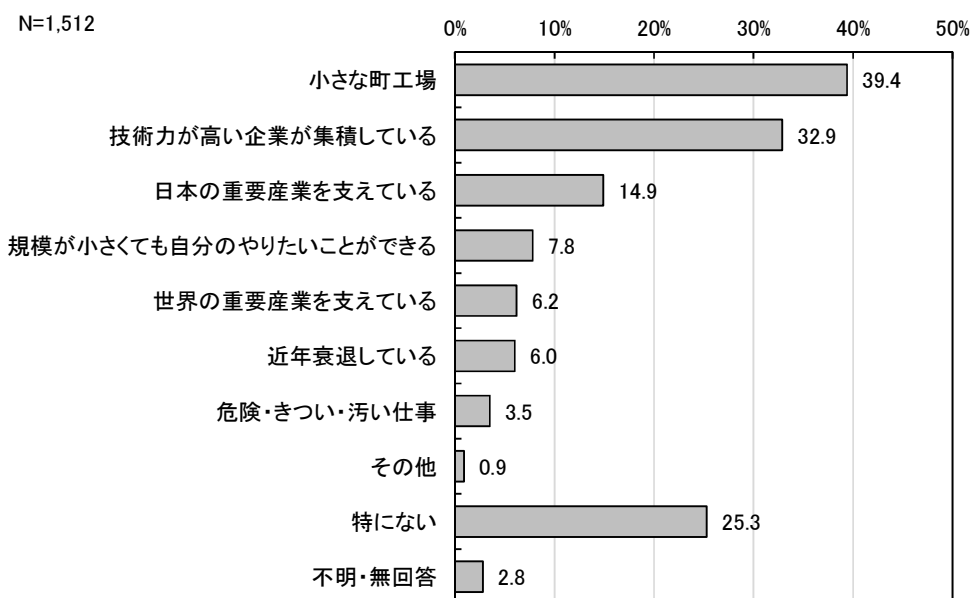
東大阪市にどのような企業が多く立地しているかについて大手企業志向、中堅・中小企業志向別にみると、大手企業志向、中堅・中小企業志向ともに「あまり知らない」がそれぞれ 39.2%、39.1%と最も高く、次いで「知らない」がそれぞれ 32.0%、33.6%となっています。



(7) 東大阪市の中小企業に関して持っているイメージ〈複数回答〉

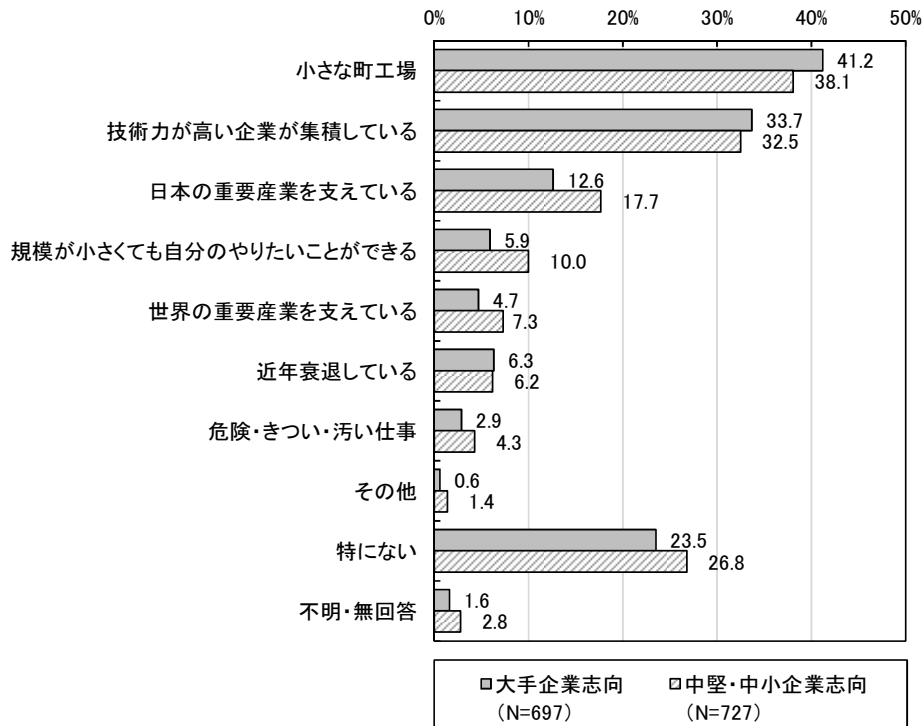
〔問 11 東大阪市の中小企業に関してあなたの持っているイメージについて、あてはまるものはどれですか。(あてはまるものすべてに○)〕

東大阪市の中小企業に関して持っているイメージについてみると、「小さな町工場」が39.4%と最も高く、次いで「技術力が高い企業が集積している」が32.9%、「特にない」が25.3%となっています。



■東大阪市の中小企業に関して持っているイメージ×大手企業志向、中堅・中小企業志向別

東大阪市の中小企業に関して持っているイメージについて大手企業志向、中堅・中小企業志向別みると、大手企業志向、中堅・中小企業志向ともに「小さな町工場」がそれぞれ41.2%、38.1%と最も高く、次いで「技術力が高い企業が集積している」がそれぞれ33.7%、32.5%、「特にない」がそれぞれ23.5%、26.8%となっています。



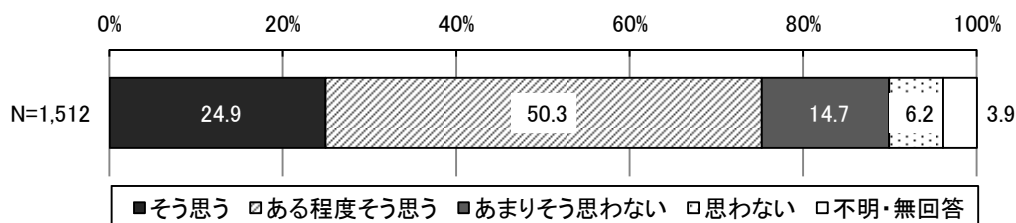
○その他回答

回答	件数
柄が悪い	2
ものづくりのまち	1
やりがいのある仕事	1
環境に悪い	1
地域みっちゃく	1
地元でないので、まったくわからない	1
あまり知らないなので、分かりません	1
社員どうしの仲が良い	1
長生き、法人資本主義	1
縁の下の力持ち	1
技術力が高い企業が集積していると思います	1

(8) 地元企業の情報を入手したり、知る機会を増やしてほしいと思うか〈単数回答〉

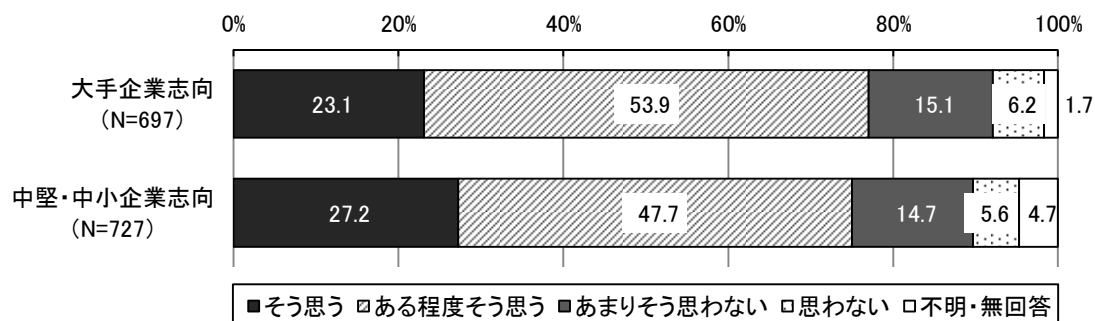
〔問 12 東大阪市はモノづくりのまちとして認知されており、航空機や新幹線などの交通インフラを支えたり、オリンピック選手に使用される製品づくりで活かされるなど、社会で幅広く貢献する技術を持つ中堅・中小企業が立地していますが、そのような地元企業の情報をもっと入手したり、知る機会を増やしてほしいと思いますか。(1つに○)〕

地元企業の情報を入手したり、知る機会を増やしてほしいと思うかについてみると、「ある程度そう思う」が50.3%と最も高く、次いで「そう思う」が24.9%、「あまりそう思わない」が14.7%となっています。



■ 地元企業の情報を入手したり、知る機会を増やしてほしいと思うか×大手企業志向、中堅・中小企業志向別

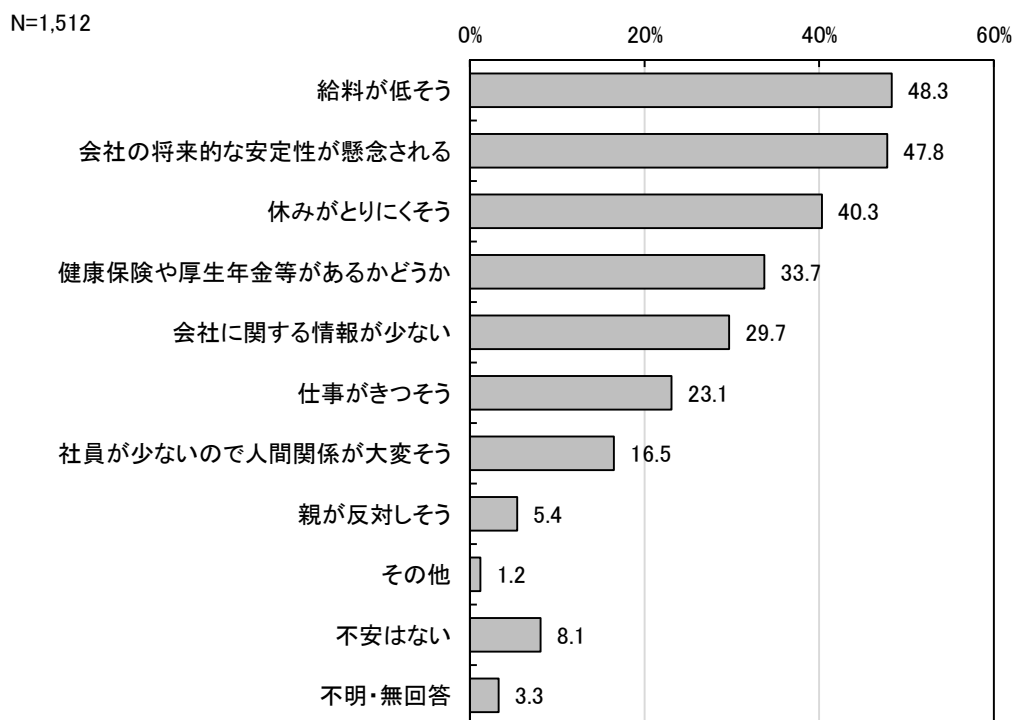
地元企業の情報を入手したり、知る機会を増やしてほしいと思うかについて大手企業志向、中堅・中小企業志向別にみると、大手企業志向、中堅・中小企業志向ともに「ある程度そう思う」がそれぞれ53.9%、47.7%と最も高く、次いで「そう思う」がそれぞれ23.1%、27.2%となっています。



(9) 中小企業に就職するとした場合、不安なことはあるか〈複数回答〉

〔問 13 中小企業に就職するとした場合、不安なことはありますか。(あてはまるものすべてに○)〕

中小企業に就職するとした場合、不安なことはあるかについてみると、「給料が低そう」が48.3%と最も高く、次いで「会社の将来的な安定性が懸念される」が47.8%、「休みがとりにくそう」が40.3%となっています。



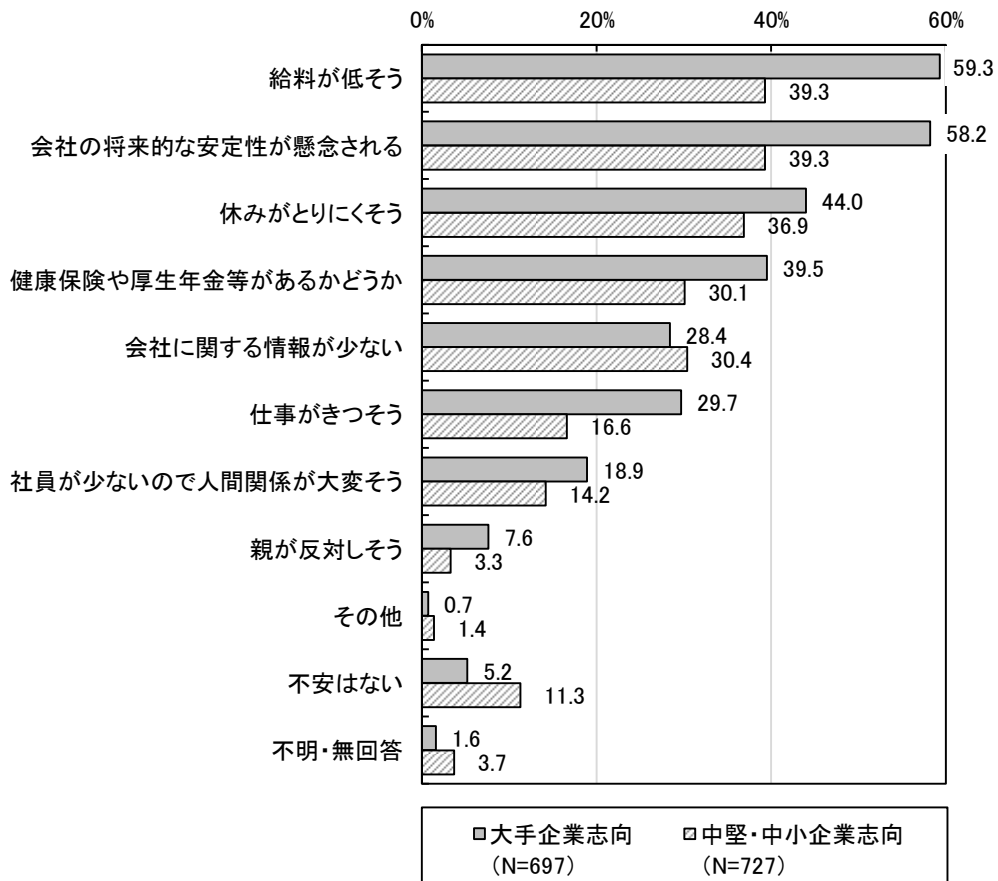
○その他回答

回答	件数
楽しく仕事ができるか	1
ブラックかどうか	1
経験していなくても行けるか	1
残業がひどそう	1
労基法を本気で踏みにじって残業代を踏み倒していそう	1
福利厚生が充実であるか	1
会社の運営に対して挑戦しない保守的なイメージ	1
自分と社風の相性	1
リストラなどの可能性	1
モチベーションが保てなさそう	1
自信をもって友人などに自分の会社名を言えるかわからない	1

■中小企業に就職するとした場合、不安なことはあるか×大手企業志向、中堅・中小企業志向別

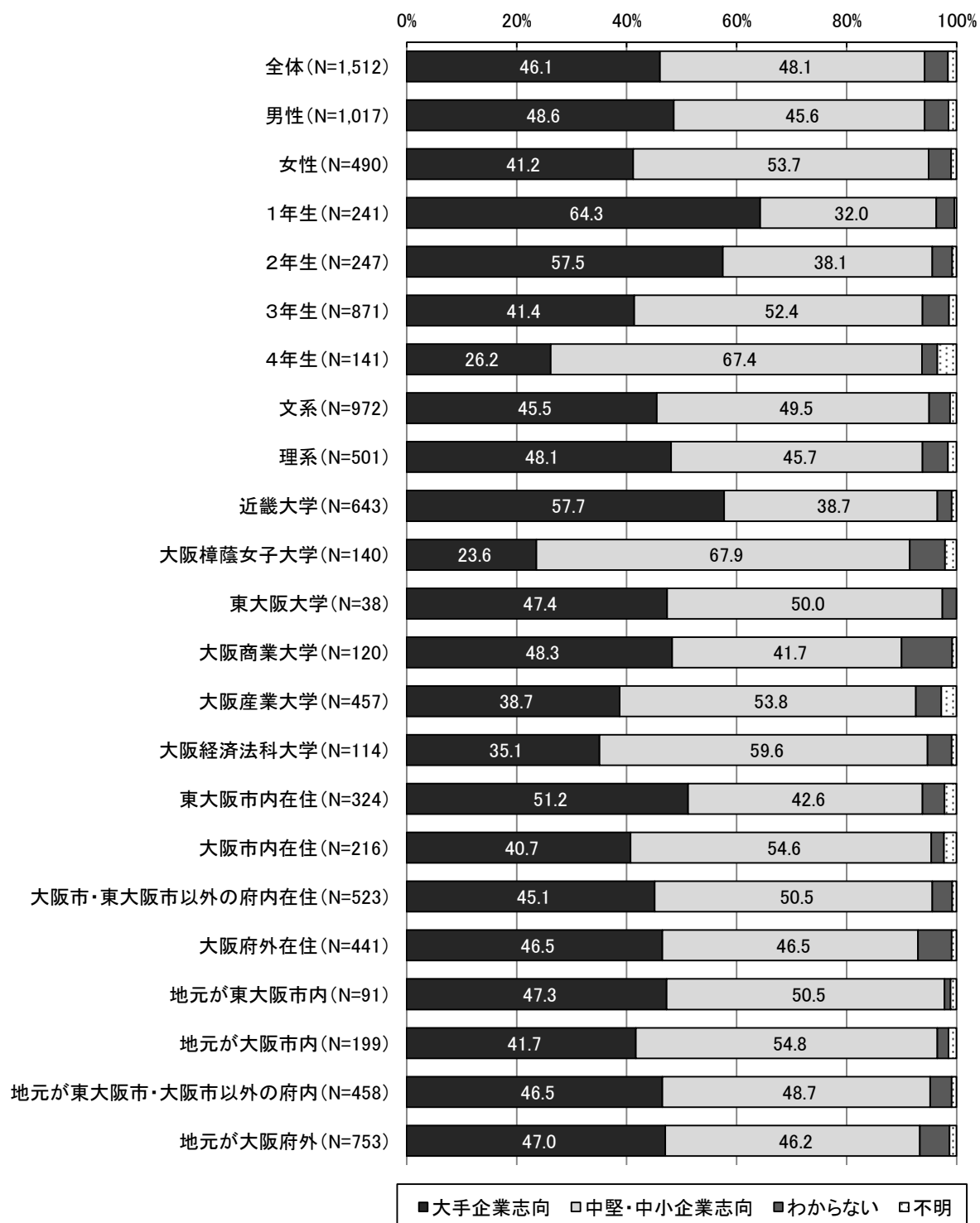
中小企業に就職するとした場合、不安なことはあるかについて大手企業志向、中堅・中小企業志向別にみると、大手企業志向では「給料が低そう」が59.3%と最も高く、次いで「会社の将来的な安定性が懸念される」が58.2%、「休みがとりにくそう」が44.0%となっています。

中堅・中小企業志向では「給料が低そう」、「会社の将来的な安定性が懸念される」がともに39.3%と最も高く、次いで「休みがとりにくそう」が36.9%、「会社に関する情報が少ない」が30.4%となっています。



(10) 属性別にみた大手企業志向または中堅・中小企業志向について

大手企業志向か中堅・中小企業志向かを属性別にみると、中堅・中小企業志向は男性より女性の方が高く、学年が上がるごとに増加しています。大学別では近畿大学、大阪商業大学で低く、大阪樟蔭女子大学、大阪経済法科大学、大阪産業大学で高くなっています。東大阪市内在住者は低く、大阪市内在住または地元が大阪市内の回答者は高くなっています。



IV. アンケート調査のまとめ

1 結婚・出産・子育てに関する調査について

(1) 結婚・出産について

結婚時の年齢をみると、全国との比較において、本市の有配偶者については、結婚年齢が全体的にやや若い傾向が見られます。少子化の大きな原因の一つが晩婚化にあるとされる中、比較的若いうちに結婚する人が多いことは、出生率の改善においては肯定的な状況にあると考えられます。

現在の子どもの数については、全国調査とほぼ等しい結果となっていますが、今後持つことを予定している子ども数、理想の子ども数については全国を上回っており、本市の若年層は、より多くの子どもを希望する傾向にあると言えます。理想の子ども数と予定している子ども数を比較すると、3人以上が理想と考える層の半数以上で、予定の子ども数が理想より少なくなっており、3人以上の子どもを持つことに難しさを感じる人が多くなっています。また、予定が理想より少ない理由として、「子育てや教育に費用がかかるから」という回答が多くを占めており、経済的な問題が最も大きくなっています。

(2) 結婚の支援について

結婚相手と知り合ったきっかけについては、「職場や仕事の関係で」と「友人や兄弟姉妹を通じて」を合わせると半数を超えており、身近な人間関係を通じて結婚相手と知り合った人が多くなっています。一方で、「インターネット（SNS）で」という回答も7.6%あり、インターネットが新しい出会いの場としても機能していることがうかがえます。結婚したことがない回答者は、25～29歳では約半数、30歳代では2割台前半となっており、独身者の約8割はいずれ結婚するつもりがあると回答しています。「結婚するつもりはない」という回答は、20歳代では1割程度にとどまっていますが、30歳代では3割近くに増加します。

現在結婚していない回答者の独身でいる理由をみると、「適当な相手にめぐり合わない」という回答が45.0%で最も多く、30歳代では57.1%まで増加します。一方で結婚を考えるとときに不安になることとして、男女とも「経済的なこと」が6割を超えて最も多くなっています。出会いの場と経済的な問題が、結婚の大きな障壁となっていることがうかがえます。

結婚するために利用してみたいサービスについては、「とくにない」が半数を超えている一方で、全体の約4割は何らかのサービスの利用意向を持っています。民間の結婚支援サービスの利用については、肯定的な回答よりも、「費用が高い（高そう）」、「個人情報の取り扱いが不安」といった否定的なイメージの回答が多くなっています。費用面での支援等があれば、結婚支援サービスの利用の促進に、ある程度つながると考えられます。

(3) 子育てについて

子どもを育てる上で、どのようなまちに住みたいかについては、「子育ての金銭面での支援」、「治安の良さ」が6割近く、「保育所等の子育て支援施策」が約4割と上位を占めています。特に子どものいる人に限ると、「子育ての金銭面での支援」の回答が多くなっています。これら以外には、「産婦人科や小児科、小児救急」、「助けてもらえる親族や知人の存在」、「学校教育等の教育環境」がそれぞれ2割台となっています。

これらの子どもを育てる上で重視する点について、東大阪市の現状を市民はどう感じているかをみると、上位の3項目については、いずれもそう思うという回答よりそう思わないという回答が多く、特に治安については否定的な回答が7割以上を占めています。子どものいる人に限ると、「保育所等の子育て支援施策」については否定的な回答が増加するのに対し、「産婦人科や小児科、小児救急」、「助けてもらえる親族や知人の存在」については肯定的な回答が増加しており、一定の評価が得られている項目もあります。

総じて本市については、子育て環境として評価されていない点が多いと考えられますが、一方で有配偶者の現在の子どもの数をもとに、全国調査との差はそれほどありません。本市の出生率は全国の数値よりやや低くなっていますが、これは本市の若年者の有配偶率が全国平均より低いことに起因するものと考えるのが妥当であり、子育て環境としての市民の評価が本市の子どもの数に直結しているとは言えません。

肯定的な見方をすれば、今後、子育て支援等を充実させる施策を重ねることで、子育て環境として一般により評価されるようになれば、本市の出生数を伸ばしていく可能性が大いにあると言えるでしょう。

(4) 出生率について

本調査において、有配偶者（問5「結婚している」）の現在の子どもの数（問8）、予定している子どもの数（問9+問10）、理想の子どもの数（問11）、独身者（問5「以前結婚していたが今はしていない」または「結婚したことはない」）の将来欲しい子どもの数（問14）の平均値は以下の表の通りです。全国調査と比較すると、現在の子どもの数は全国とほぼ等しく、予定の子どもの数、理想の子どもの数は全国より高くなっており、全国的な状況と比較して本市の若年者は、子どもを多く持つことを希望していることがうかがえます。

この結果から東大阪市の20～39歳のコーホート合計特殊出生率（同一世代に属する女性が一生に生む子どもの数）を推計すると、1.83となり、さらにこの世代の理想が十分になえられると仮定した場合は2.06まで上昇します。人口動態保健所・市町村別統計によると、平成20年から平成24年の東大阪市の合計特殊出生率は1.34となっており、今後上昇の余地があると考えられます。

もっとも、今回の試算においては、若年世代の理想が十分になえられても、一般的に人口置換水準とされる合計特殊出生率2.07にわずかに届かない結果となっています。今後、出生率のさらなる向上を目指すのであれば、子育ての負担の軽減や経済的支援を含め、多くの子どもを持つことに、より希望を持ちやすい環境の整備を一層進めることが必要になると考えられます。

有配偶者	現在の子どもの数	予定の子どもの数	理想の子どもの数
東大阪市	1.50	2.23	2.52
全国	1.50	2.15	2.41

独身者	欲しい子どもの数
東大阪市	2.14
全国	1.88

※いずれも20～39歳の回答で比較。独身者については結婚意思のある回答者のみの集計。全国調査については、有配偶者の年齢は妻の年齢を基準としているため、本調査とは若干のずれがあることが考えられる。

◎本調査から算出される若年者（20～39歳）のコーホート合計特殊出生率（予定）の推計値

推計の考え方

有配偶者については予定子ども数が達成されると仮定。独身者については、結婚を希望する人について、ほしい子どもの数に有配偶者の理想の子どもの数に対する予定の子どもの数の比率と同じ数値を乗じた子ども数が達成されると仮定。

若年者（20～39歳） 予定合計特殊出生率

$$= A \times C + D \times A / B \times E \times F$$

$$= 2.23 \times 0.402 + 2.14 \times 2.23 / 2.52 \times 0.598 \times 0.822 = \underline{\underline{1.83}}$$

◎若い世代の希望がかなえられた場合のコーホート合計特殊出生率（理想）の推計値

推計の考え方

有配偶者については理想子ども数が達成され、結婚を希望する独身者については欲しい子ども数が達成されると仮定。

若年者（20～39歳）の理想合計特殊出生率

$$= B \times C + D \times E \times F$$

$$= 2.52 \times 0.402 + 2.14 \times 0.598 \times 0.822 = \underline{\underline{2.06}}$$

A：有配偶者予定子ども数（問10）

D：独身者ほしい子ども数（14）

B：有配偶者理想子ども数（問11）

E：独身者率（2010国勢調査）

C：有配偶者率（2010国勢調査）

F：独身者結婚希望率（問15）

※本調査の結果については不明・無回答を除いて算出。国勢調査については配偶関係不詳を除いて算出。本調査の回答者においては、本市の市民の構成と比較してやや有配偶者が多かったため、有配偶者率・独身者率については国勢調査の数値を適用した。

2 就職に関する調査について

(1) 大手企業志向と中堅・中小企業志向について

回答者を大手企業志向と中堅・中小企業志向に分類し、会社を選ぶ際に重視する観点や就職に関する考えについて、回答の傾向の違いをみたところ、大手企業志向の方が「給与・福利厚生」を重視する人が多く、中堅・中小企業志向の方が「企業の規模よりやりたい仕事ができるかどうかを優先したい」という回答が多くなっていました。しかし、それ以外の項目ではあまり大きな違いが見られず、「就職するにあたって自分のやりたいことがはっきりとイメージできている」、「就職した後のライフプランがイメージできている」という回答は、むしろ大手企業志向の方が多くなっていました。今回の回答状況から分類した中堅・中小企業志向は、明確な目的意識に基づくものばかりとはいええない可能性もうかがえます。

中小企業に就職するとした場合に不安なことについては、「給料が低そう」、「会社の将来的な安定性が懸念される」、「健康保険や厚生年金等があるかどうか」、「仕事がつきそう」といった項目で、大手企業志向の回答が中堅・中小企業志向の回答を大きく上回っており、こうした不安が大手企業を志向させている原因になっているとみられます。

今回の調査では、より具体的に進路を考えるようになる上の学年になるにつれて、希望業種が社会状況に合わせて調整されるとともに、中堅・中小企業志向が増加する傾向がみられました。就職活動を進める中で中堅・中小企業の実情を知ることや、自身の就職先を具体的にイメージしていく中で、中堅・中小企業志向が増加していることもうかがえます。もっとも、就職先としては中堅・中小企業をある程度具体的に考えていても、就職後の仕事やライフプランのイメージはあまり明確にできていない回答者も多いとみられ、中堅・中小企業志向がどこまで積極的・前向きなものであるかは不明確です。漠然とした大手企業志向の多いと思われる1、2年生のうちから、中堅・中小企業を就職先としてイメージできるような情報提供やインターンシップ等のキャリア教育を進めることで、より明確な目的意識やキャリアイメージに基づく中堅・中小企業志向の学生を増加させることにつながると考えられます。

(2) 東大阪市の企業について

東大阪市にどのような企業が多く立地しているかについては、「知っている」という回答は全体の6.3%にとどまり、「ある程度は知っている」を合わせても2割台半ばとなっています。東大阪市の中小企業の集積について、東大阪市とその近隣の大学で学ぶ学生の多くは、認知していないというのが現状のようです。東大阪市の中小企業に関するイメージについては、全体の7割は何らかのイメージを回答しており、「小さな町工場」、「技術力が高い企業が集積している」という回答が3割台となっていますが、これについても一般的な中小企業のイメージや本調査の設問から示唆されたイメージにとどまっている可能性があります。

一方、「地元企業の情報を入手したり、知る機会を増やしてほしいと思うか」という設問に対しては、全体の4分の1が「そう思う」と回答し、半数が「ある程度そう思う」と回答しています。全体の約4分の3が地元企業の情報の入手に関心を持っており、これは大手企業志向と中堅・中小企業志向のいずれにおいても、ほぼ同様の傾向となっています。大手企業志向の学生にとっても、中堅・中

小企業を選択肢から完全に外しているのではなく、中堅・中小企業をよく知る機会を提供することで、そうした企業への就職を志向する学生を増やすことができると考えられます。